Nikon

ニコンデジタルカメラ

COOLPIX 4200

クールピクス4200

使用説明書

商標説明

- Microsoft® および Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、Power Macintosh、PowerBook、iMac、iBook、QuickTime は米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe および Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SD ロゴおよび PictBridge ロゴは商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

このたびは、ニコンデジタルカメラ COOLPIX4200をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この使用説明書はデジタルカメラCOOLPIX4200で撮影をお楽しみいただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

本文中のマークについて

✔	カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
🖉	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
💡	カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。
👁	関連情報を記載した参照ページを記載しています。

「初期設定」について
本書では、カメラご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。

内蔵メモリと SD メモリーカードについて
本機は、内蔵メモリと SD メモリーカードの両方に対応しています。SD メモリーカードをカメラにセットしているときは、SDメモリーカードが優先して使用されます。内蔵メモリに対して、撮影、再生、削除、初期化などの操作をするときは、SD メモリーカードをカメラから取り出してください。

SD メモリーカードの表記について
本書では、以降 SD メモリーカードを略して SD カードと表記しています。

画面例について
本書では、液晶モニタ画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。

危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告（カメラについて）

分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止

すぐに修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電池、電源を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

⚠ 警告（カメラについて）

電池を取る

すぐに
修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。電池を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

見ないこと

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。

発光禁止

車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと

事故の原因となります。

発光禁止

スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。

保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

指定の電池または専用 AC アダプタを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

使用禁止

AC アダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

保管注意

製品は幼児の手の届かないところに置くこと

ケガの原因になることがあります。

保管注意

使用しないときは、電源を OFF にしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。

使用注意

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

禁止

長期間使用しないときは電源（電池や AC アダプタ）を外すこと

電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

プラグを抜く

AC アダプタで使用されている場合には、AC アダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

禁止

本機器や AC アダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

同梱の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで使用しないこと

機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼす場合があります。

⚠ 危険（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

使用禁止

Li-ion リチャージャブルバッテリーEN-EL5 は、ニコンデジタルカメラ専用の充電式電池で、COOLPIX4200 に対応しています。EN-EL5 に対応していない機器には使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

危険

電池からもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は幼児の手の届かない所に置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはテープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービスセンターやリサイクル協力店へご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚・衣服へついたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 注意（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

目次

セットアップメニュー 115

付録 130

ご確認ください

●保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入 1 年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

- カスタマ登録は下記のホームページからも登録できます。

http://reg.nikon-image.com

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、堅くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、ニコンサービスセンターにて新しい使用説明書をお求めください（有料）。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、AC アダプタキットなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合せでご使用ください。

- 他社製品との組み合せ使用により、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーを使用されますと、カメラの充分な性能が出せないことやバッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。

●著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

各部の名称

シャッターボタン（17、31）

セルフタイマーランプ（54）／AF 補助光（LED 33、133、142）

ファインダー

モードダイヤル（16）

電源ランプ（22）

スピードライト（51）

マイク（65）

電源スイッチ（22）

レンズ（132、142）

ストラップ取り付け部

SD カードカバー（20）

AC アダプタキット接続用パワーコネクタカバー（130）

レンズ収納時

レンズカバー

ストラップの取り付け方

ズームボタン（／）（29）

AF ランプ（緑色）（31）

マルチセレクター
（／／／）（17）

スピードライトランプ
（赤色）（31）

（決定）／（転送）
ボタン（17）

ファインダー
（30）

スピーカー

バッテリーカバー
（18、130）

液晶モニタ
（14）

（再生）ボタン
（34、61）

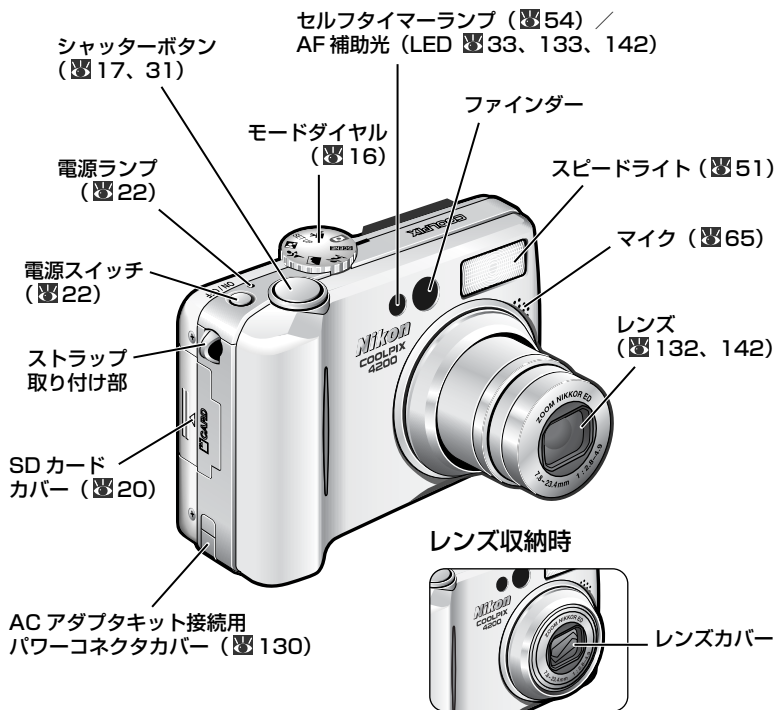
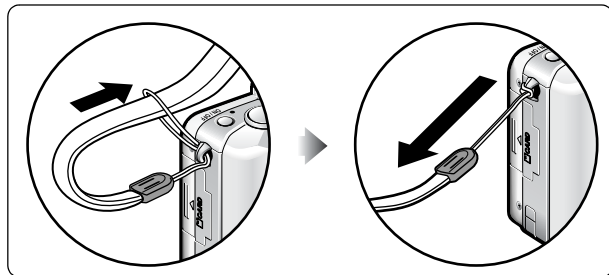
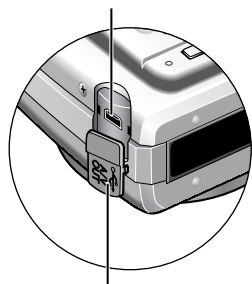
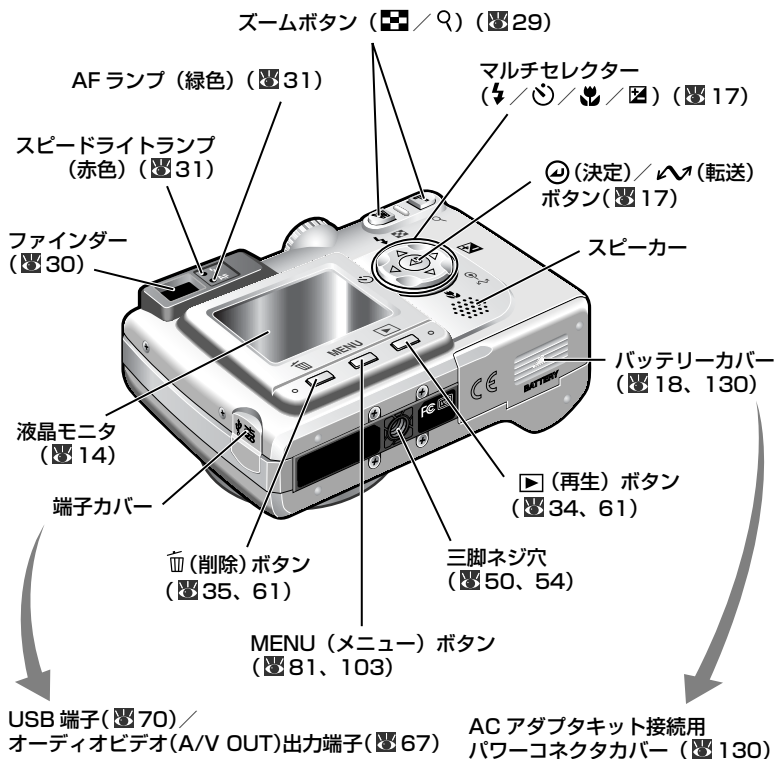
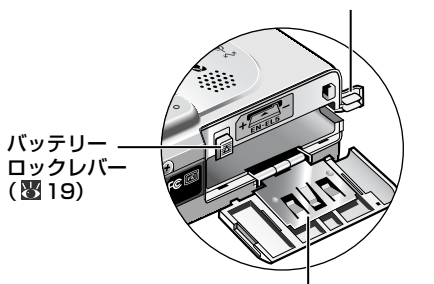
端子カバー

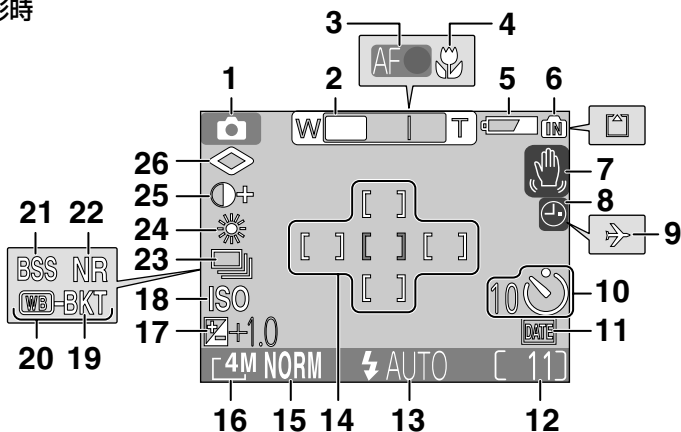
（削除）ボタン
（35、61）

三脚ネジ穴
（50、54）

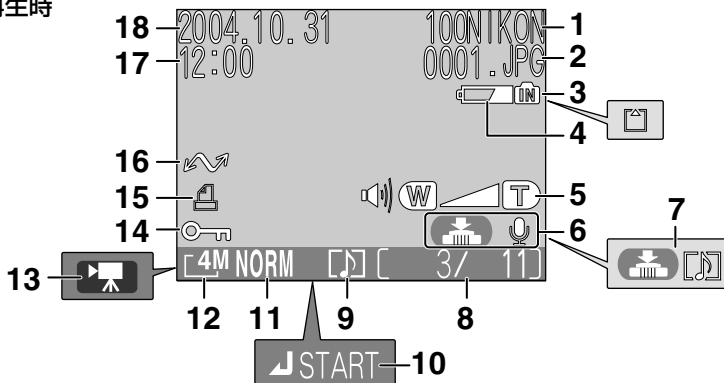
MENU（メニュー）ボタン
（81、103）

USB 端子（70）／
オーディオビデオ（A/V OUT）出力端子（67）

AC アダプタキット接続用
パワーコネクタカバー（130）

液晶モニタについて

撮影時

1	オート撮影モード／シーンモード／動画モード	27、37、59
2	ズーム表示 1)	29
3	AF 表示 2)	33
4	マクロモード	55
5	バッテリーチェック 3)	22
6	内蔵メモリ／ SD カード表示	32
7	手ブレ警告 4)	52、135
8	時計マーク 5)	26
9	ワールドタイム 6)	118
10	セルフタイマー／カウントダウン表示	53
11	デート写し込み	122
12	撮影可能コマ数／動画撮影時間表示	27、59
13	スピードライトモード	27、51
14	AF エリア 7)	98
15	画質	27、83
16	画像サイズ	27、84
17	露出補正マーク／露出補正値	56
18	感度表示	94
19	ブラケティング 8)	95
20	ホワイトバランスブラケティング 9)	95
21	BSS	91
22	ノイズ除去	102
23	連写モード	89
24	ホワイトバランス	86
25	階調補正	92
26	輪郭強調	93

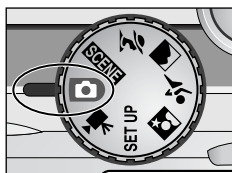
1) ズーム操作のときに表示
2) 半押ししたときに表示
3) バッテリー残量が少なくなったときに表示
4) シャッタースピードが遅いときに表示
5) 日時が設定されていないときに点滅
6) ワールドタイムで訪問先が設定されているときに表示
7) 半押ししたときにピントの合ったエリアを表示(「AF エリア」を「オート(■)」に設定した場合)
8) ブラケティングを設定しているときに表示
9) ホワイトバランスブラケティングを設定しているときに表示

再生時

1	フォルダ名	36
2	ファイル名	36
3	内蔵メモリ／SD カード表示	32
4	バッテリーチェック*	22
5	音量表示	60
6	音声メモ録音ガイド	65
7	音声メモ再生ガイド	65
8	表示画像コマ番号／総画像コマ数	34
9	音声メモ表示	65
10	動画再生表示	60
11	画質	27
12	画像サイズ	27
13	動画モード	59
14	プロテクト表示	108
15	プリント表示	73
16	転送マーク	109
17	撮影時刻	24
18	撮影日付	24

* バッテリー残量が少なくなったときに表示

液晶モニタの表示について

セットアップメニューの「モニタ設定」を使って、撮影および再生時の設定情報の表示・非表示を切り換えることができます（ 121）。設定情報を表示するには「モニタ設定」を「情報 ON」、「情報 AUTO」または「方眼＋情報 AUTO」に、非表示にするには「情報 OFF」、モニタを消灯するには「モニタ OFF」を選択します。
バッテリーチェック表示が点灯していると、スピードライト充電中は、液晶モニタは消灯します（ 22、32）。

モードダイヤルについて

モードを切り換えるときは、使用するモードのアイコン（絵文字）を左側の ▬ マークに合わせます。

オート撮影モード

（27 ～ 36）

カメラまかせで気軽に撮影を行うときのモードです。13 種類の撮影メニューを自由に設定して撮影意図にあった撮影も可能です。

動画モード

（59 ～ 60）

3 種類の動画（音声付き）を撮影できます。

SCENE シーンモード

（44 ～ 48）

パーティーや夜景など 11 種類のシーンに応じた最適な設定で撮影できます。

SET UP

SET UP セットアップモード

（115 ～ 129）

セットアップメニューがモニタに表示されます。日時設定や画面の明るさなどを設定します。

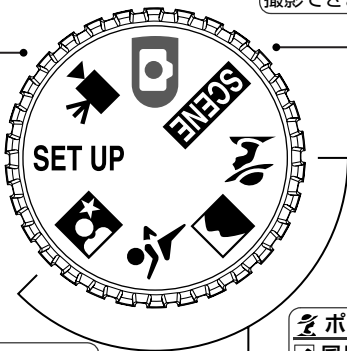
ポートレートモード

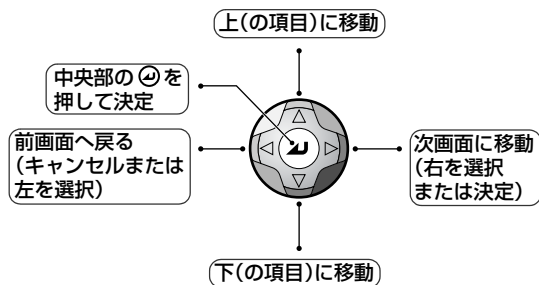
風景モード

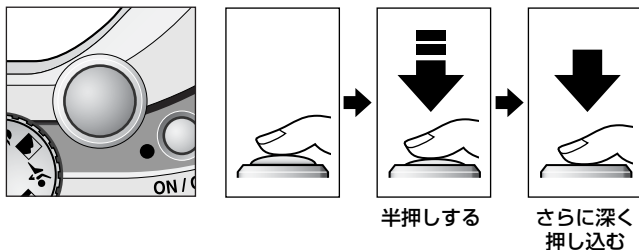
スポーツモード

夜景ポートレートモード

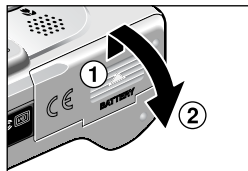
（38 ～ 43）

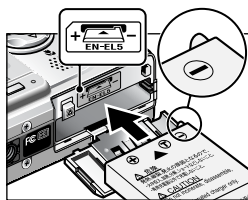
アシスト機能が付いたシーンモードで撮影できます。

メニュー操作時のマルチセレクターの使い方

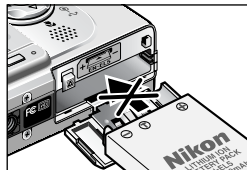
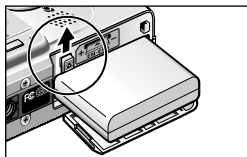
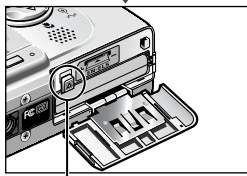
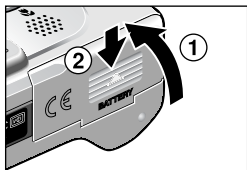
マルチセレクターを使用して項目の選択、選択した項目の決定、キャンセルを行います。

シャッターボタンの半押しについて

シャッターボタンを軽く押して、途中で止める動作を「シャッターボタンを半押しする」といいます。シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、AF ランプが点灯し、液晶モニタに AF 表示が緑色に点灯します。半押し中は、ピントと露出が固定されます。半押しした状態から、さらに深く押し込むと、シャッターがきれます。

バッテリーを入れます

このカメラは Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 を使用します。

- カメラに付属しているリチウムイオン充電式電池です。
- はじめてご使用になるときやバッテリーの残量が少なくなったときは、付属のバッテリーチャージャーMH-61 でフル充電してからご使用ください。充電方法は MH-61 の使用説明書をご覧ください。
- 残量のない状態のバッテリーを充電する場合、約 2 時間で充電が完了します。

1 バッテリーカバーを開けます。

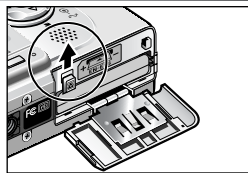
- バッテリーカバーを矢印の方向にスライドさせると(①)、カバーが自動的に開きます(②)。

2 バッテリーを入れます。

- バッテリーの突起部の位置を図に合わせて、+と−の方向を正しく入れてください。
- **向きを間違えて挿入すると、カメラが破損するおそれがあります。** 正しい方向になっているか、再度確認してください。

逆挿入注意

- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで入れると、バッテリーロックレバーがバッテリーに掛かり、バッテリーがロックされます。

バッテリーロックレバー

3 バッテリーカバーを閉じます。

- バッテリーカバーを閉じて(①)、カバーをスライドさせます(②)。
- バッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください。

バッテリーを取り出すには

カメラの電源を OFF にして、電源ランプが消灯していることを確認した上で、バッテリーカバーを開けてください。バッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと、バッテリーが少し飛び出しますので、バッテリーをまっすぐ引き抜いてください。

- カメラの使用直後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

バッテリーについてのご注意

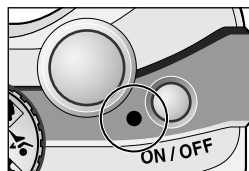
- Li-ion リチャージャブルバッテリーEN-EL5 の取り扱いについては、バッテリーやバッテリーチャージャーMH-61 の使用説明書もご覧ください。
- バッテリーを入れる際は「安全上のご注意」の「警告」、「危険」（2 ～ 6）や「バッテリーの取り扱いについて」（134）の注意事項を必ずお守りください。

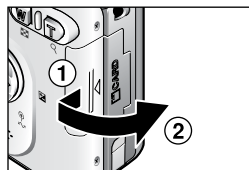
使用できる AC 電源について

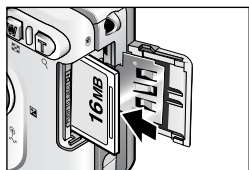
再生時やパソコンとの接続時などカメラを長時間ご使用になる場合は、別売の AC アダプタキット EH-62A をご使用ください。AC アダプタキットを使用すると、家庭用コンセント（AC100V）から COOLPIX4200 へ電源を供給することができます。EH-62A 以外の AC アダプタは**絶対に使用しないでください**。カメラの故障、発熱の原因となります。
AC アダプタキット EH-62A の使用方法については「AC アダプタキット EH-62A の接続について」（130）をご覧ください。

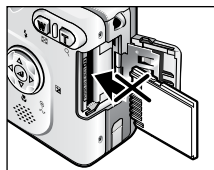
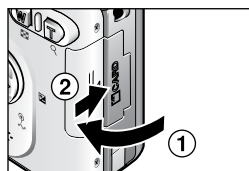
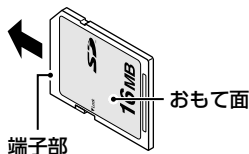
SD カードを入れます

撮影した画像は、カメラの内蔵メモリ（約 12MB）または市販のSDカードに記録されます。

SD カードをカメラにセットしていない場合は、内蔵メモリに記録されます。
SD カードをカメラにセットすると、自動的に SD カードに記録されます。

1 カメラの電源がOFFになっていることを確認します。

- 電源ランプが消灯していることを確認してください。

2 SD カードカバーを開けます。

- SD カードカバーを矢印の方向にスライドさせると（①）、カバーが自動的に開きます（②）。

3 SD カードを入れます。

- SD カードを図のように差し込み、矢印方向にしっかりと奥まで挿入します。
- SD カードを装着するときには、SD カードの端子側からカメラに挿入してください。
- **向きを間違えて装着すると、カメラおよび SD カードを破損するおそれがあります。** 正しい方向で挿入しているか、再度ご確認ください。

逆挿入注意

4 SD カードカバーを閉じます。

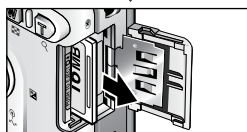
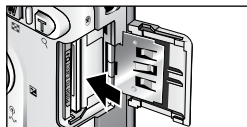
- SD カードカバーを閉じて（①）、カバーをスライドさせます（②）。
- SD カードカバーがしっかりと閉じていることを確認してください。

SD カードの初期化

SD カードをはじめて COOLPIX4200 で使用する場合は、あらかじめ SD カードを初期化する必要があります。初期化する場合には、必ずカメラで行ってください。パソコンで初期化(フォーマット)を行うと、データの書き込み、あるいは読み出しができないなどの不具合が発生することがあります。詳しい手順については、「メモリ/カードの初期化」(125)をご覧ください。

SD カードを取り出すには

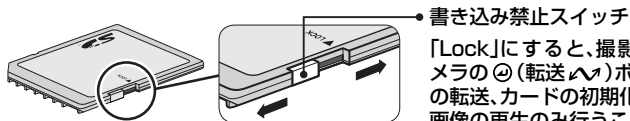
カメラの電源を OFF にして、電源ランプが消灯していることを確認した上で、SD カードカバーを開けてください。SD カードを押し込むと、SD カードが少し飛び出しますので、SD カードをまっすぐ引き抜いてください 。

- カメラの使用直後は、SD カードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

SD カードの取り扱い上のご注意

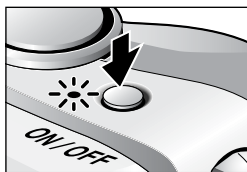
- 使用可能なSDカードについては、「付録ー別売アクセサリー」の「推奨SDカード一覧」(130)をご確認ください。
- SD カード以外のメモリカードは使用できません。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなど温度が高くなるところには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところおよび腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

SD カードの書き込み禁止スイッチについて

SD カードには、書き込み禁止スイッチがついています。このスイッチを「Lock」にすると、データの書き込みや削除が禁止され、カード内の画像等を保護することができます。画像を撮影、編集、削除または(転送)ボタンで転送するときや SD カードを初期化するときには「Lock」を解除してください。

書き込み禁止スイッチ

「Lock」にすると、撮影、編集、削除、カメラの(転送)ボタンによる画像の転送、カードの初期化はできません。画像の再生のみ行うことができます。

撮影の準備

電源を ON にして、電池の残量を確認します

1 電源を ON にします。

- 電源スイッチを押します。
- 電源が ON になると、電源ランプが点灯します。

2 液晶モニタに表示されるバッテリーチェック表示を確認します。

- はじめて電源を ON にした場合は、次のような表示言語（127）の設定画面が表示されます。設定を変更する必要がない場合は、マルチセレクターのボタンを押してください。表示言語の設定画面でボタンを押すと、日時設定を行うかどうか表示されます。設定方法は「日付と時刻を設定します」（24）をご覧ください。

表示言語/LANGUAGE
Deutsch　Nederlands
English　Svenska
Español　日本語
Français　中文(简体)
Italiano　한글
MENU キャンセル　決定

バッテリーチェック表示

表示	意味	カメラの状態
表示なし	バッテリーの残量は充分です。	撮影できます。
（点灯）	バッテリーの残量が少なくなりました。バッテリーを交換する準備をしてください。	撮影できます。 • スピードライト発光後の充電中は液晶モニタが消灯します。
電池残量がありません	バッテリーの残量がなくなりました。充電済みのバッテリーと交換するか、充電してください。	撮影できません。

バッテリーの残量がなくなる直前には、スピードライトランプと AF ランプが同時にゆっくりと点滅し、「電池残量がありません」という警告メッセージ（135）が表示されます。

カメラの電源を OFF にするときは

電源ランプが点灯しているときに電源スイッチを押すと、電源は OFF になります。
- 電源ランプが消灯するまでバッテリーを取り出したり AC アダプタキット EH-62A（別売）を外したりしないでください。

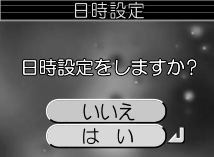
▶ボタンによる電源 ON

▶ボタンを 2 秒以上押し続けた場合も電源が ON になります。この場合は直接 1 コマ再生モード（34）に入ります。

電源ランプについて

電源ランプは次の状態を示しています。
- 電源ランプ点灯：電源 ON
- 電源ランプ点滅：オートパワーオフ機能作動中（スリープ状態）
- 電源ランプ消灯：電源 OFF

オートパワーオフ機能

カメラの電源を ON にして、なにも操作しないで約 1 分（初期設定）経過すると、バッテリーの消耗を抑えるためにオートパワーオフ機能が作動し、液晶モニタが消灯します。オートパワーオフ機能の作動中は電源ランプが点滅します。オートパワーオフ機能が作動してからなにも操作しないで約 3 分経過すると、自動的に電源が OFF になり、電源ランプが消灯します。
電源ランプの点滅中は、次の操作で電源 ON の状態に戻ります。
- 電源スイッチを押す。
- シャッターボタンを半押しする。
- ▶ボタンを押す（再生モードになります）。
- **MENU** ボタンを押す（各モードのメニュー画面が表示されます）。
- モードダイヤルを回す（設定したモードに入ります）。

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間はセットアップメニューの「オートパワーオフ」から 30 秒、1 分、5 分、30 分のいずれかに設定できます（125）。ただし、次の場合はオートパワーオフ機能が作動するまでの時間が固定されます。
- 「オートパワーオフ」が 30 秒または 1 分に設定されているときに、メニュー画面を表示している場合：3 分に固定
- スライドショーを再生している場合：30 分に固定
- AC アダプタキット EH-62A（別売）を使用している場合：30 分に固定

カメラとパソコンやプリンタを USB ケーブルで接続すると、オートパワーオフ機能は働きません。

日付と時刻を設定します

はじめてカメラの電源を ON にしたときは、表示言語の設定画面で ⏎ を押したあと、日時設定の画面が自動的に表示されます。以下の手順に従って日時を設定してください。

1

マルチセレクターの▼を押して、「はい」を選択します。

- 「いいえ」を選択すると日時設定をせずにモードダイヤルに対応した画面に切り換わります。

2

⏎ を押します。ワールドタイムの設定画面に切り換わります。

▼を押すと、夏時間を設定できます。

- 夏時間を設定しない場合は、そのまま手順 4 へお進みください。
- 夏時間を設定する場合は、「夏時間」を選択して ⏎ を押します。□に ✔ が入ります。⏎ を押すたびに、夏時間の□と☑が切り換わります。
- 夏時間を設定後、マルチセレクターの▲を押して都市名の項目に戻ります。

夏時間について

夏時間とは、夏の間だけ 1 時間繰りあげて、日中の明るい時間を有効利用する趣旨で、現在約 70ヶ国で採用している制度です。ワールドタイムの夏時間を設定すると、時刻が 1 時間進みます。ただし、日本国内では設定する必要がありません。

▶を押します。自宅の設定画面に切り換わります。

◀または▶を押して、自宅のあるタイムゾーンを選択します。

⏎を押します。自宅のあるタイムゾーンが決定して、日時設定の画面に切り換わります。

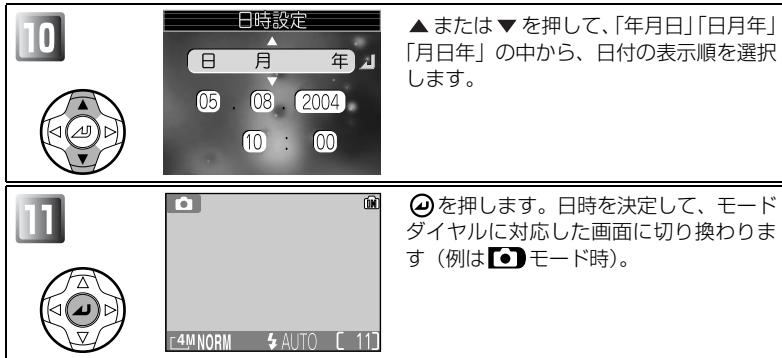
- はじめてカメラの電源を ON にして日時を設定しているときは、◀を押しても「自宅の設定」に戻ることはできません。

「年」が点滅します。▲または▼で年を合わせます。

▶を押して、「月」の設定に移ります。7と8の手順を繰り返して、月、日、時、分を順番に選択し、現在の日付・時刻に合わせます。

▶を押します。「年月日」の位置が点滅します。

▲または▼を押して、「年月日」「日月年」「月日年」の中から、日付の表示順を選択します。

を押します。日時を決定して、モードダイヤルに対応した画面に切り換わります（例は モード時）。

日時を設定しないときは

日付と時刻が設定されていない場合は、撮影時に液晶モニタに時計マーク（ ）が点滅し（ 14）、撮影した画像の撮影日時情報は「0000.00.00 00:00」（静止画）、または「2004.01.01 00:00」（動画）と記録されます。

バックアップ電池について

バックアップ電池はバッテリーや AC アダプタキット EH-62A（別売）でカメラに電源が供給されていると、約 10 時間で充電されます。充電が完了すると、カメラのバッテリーを取り出したり、AC アダプタキットを外しても、記憶された日時は数日間保持されます。

- バックアップ電池の充電が不充分な場合は、一度設定した日時データが失われることがあります。

カメラの内蔵時計について

カメラの内蔵時計は一般的な時計（腕時計など）ほど精度は良くありません。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

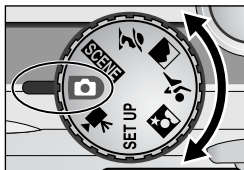
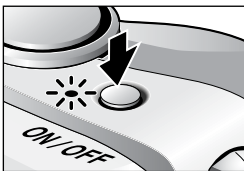
付属のソフトウェアを使用した日時の自動設定

ご使用のパソコンの OS が Windows XP または Mac OS X の場合、カメラのセットアップメニューの「USB」を「PTP」に設定してカメラとパソコンを接続すると（ 68）、付属のソフトウェアを使用してパソコンに設定されている日付と時刻を自動的にカメラに設定することができます。詳しくは、付属のソフトウェアのリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

ワールドタイムの設定について

海外の訪問先の日時や夏時間を設定できます。詳しくはセットアップメニューの「日時設定」（ 118）をご覧ください。

1. モードダイヤルを（オート撮影モード）にセットします

（オート撮影モード）では、撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的に設定されるので、はじめてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

1 カメラのモードダイヤルをに合わせます。

2 カメラの電源を ON にします。

- 電源を ON にすると電源ランプが点灯し、液晶モニタにオープニング画面（116）が表示されたあと、撮影画面に変わります。

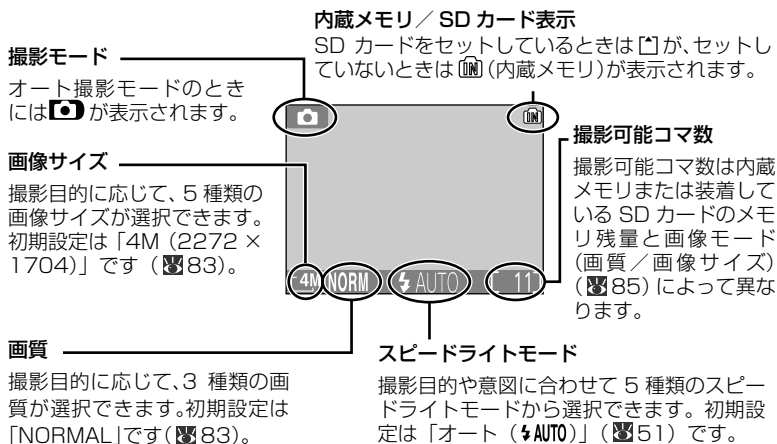
内蔵メモリ／ SD カード表示
SD カードをセットしているときはが、セットしていないときは（内蔵メモリ）が表示されます。

撮影モード
オート撮影モードのときにはが表示されます。

撮影可能コマ数
撮影可能コマ数は内蔵メモリまたは装着している SD カードのメモリ残量と画像モード（画質／画像サイズ）（85）によって異なります。

画像サイズ
撮影目的に応じて、5 種類の画像サイズが選択できます。初期設定は「4M（2272 × 1704）」です（83）。

画質
撮影目的に応じて、3 種類の画質が選択できます。初期設定は「NORMAL」です（83）。

スピードライトモード
撮影目的や意図に合わせて 5 種類のスピードライトモードから選択できます。初期設定は「オート（AUTO）」（51）です。

メモリ残量について

内蔵メモリ／ SD カードに撮影できるメモリ残量がない場合には､「メモリ残量がありません」という警告メッセージ（ 136）が表示され、撮影を行うことができません。このときは以下のいずれかの方法で対応してください。

- 「画像モード｣（｢画質」や「画像サイズ｣）を変更する（ 83）（変更しても条件によっては撮影できない場合があります)。
- 新しい SD カードを挿入する（ 20)。
- SD カードを抜いて、内蔵メモリに画像を記録する（内蔵メモリの残量がある場合)。
- 内蔵メモリ／ SD カードに記録されている画像を削除する（ 106)。

撮影メニューについて

本機ではホワイトバランスや輪郭強調、連写などの 13 種類の撮影メニューが設定できます。詳しくは撮影メニューの各項目（ 81）をご覧ください。

アドバンストブライトネスコントロール機能

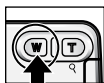
COOLPIX4200 の液晶モニタには、撮影時に外光の明るさに応じて、液晶モニタの明るさを変えて見やすくするアドバンストブライトネスコントロール機能を搭載しています。

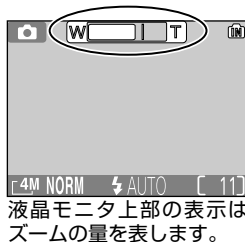
2. カメラを構え、構図を決めます

1 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、カメラは両手でしっかりと持ってください。
- 構図を決めるには、液晶モニタを見ながらでも、ファインダーをのぞきながらでも、どちらでも行えます。

カメラを構えるときのご注意

カメラ前面のレンズやスピードライト発光部、マイクなどに指や髪、ストラップ、AC アダプタキットのコードがかかったりしないように充分に注意してください。

広角側

望遠側

液晶モニタ上部の表示はズームの量を表します。

電子ズーム時

2 構図を決めます。

写したいもの（被写体）を液晶モニタの中央に合わせ、構図を決めます。

- COOLPIX4200 は、3 倍の光学ズームレンズを装備しています。ズームボタン（**W**・**T**）で、被写体の大きさを変えることができます。
- **W** ボタンを押すと、広角側にズーミングして、撮影する範囲が広くなります。
- **T** ボタンを押すと、望遠側にズーミングして、被写体を大きく写すことができます。
- 光学ズームを最も望遠側にして、**T** ボタンを 2 秒以上押し続けると、自動的に電子ズームが作動します。電子ズームは、被写体を光学ズームの最大倍率（3倍）の約4倍（合計 12 倍）まで拡大します。電子ズームが作動すると、ズーム表示が黄色に変わります。
- 電子ズームをキャンセルするには、ズーム表示が白色に戻るまで **W** ボタンを押し続けてください。

電子ズームについてのご注意

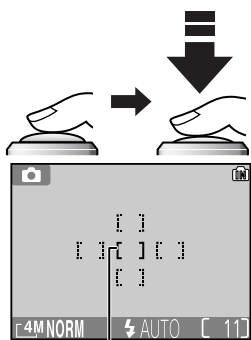
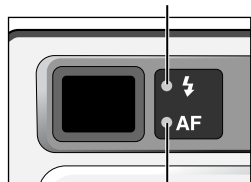
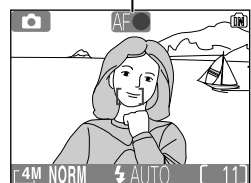
- 電子ズームはファインダーでは確認できません。必ず液晶モニタで確認してください。
- 電子ズームは、カメラがとらえた画像データをデジタル処理することで、画像の中央部を拡大しています。光学ズームとは違い、画像の中央部分を単に画面全体に拡大するため、粒子の粗い画像になります。
- 電子ズーム作動中は、AF エリアが中央に固定されます（98）。
- 電子ズーム作動中は、「測光方式」が「中央重点（）」相当に固定されます（88）。
- 液晶モニタを消灯しているとき、またはスポーツモード以外のアシスト機能付きシーンモードで撮影するときは、電子ズームを使用できません。

暗い場所で撮影するときの液晶モニタ画面について

暗い場所で撮影する場合、液晶モニタを見やすくするために通常の撮影画面にくらべてザラついた画面になることがあります。

液晶モニタとファインダーについて

- 次の場合はファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲が異なりますので、液晶モニタで構図を確認してください。
  - カメラと被写体の距離が近い場合（特に 1.5m 以内の場合）
  - 電子ズームを使用する場合
- 明るい場所で液晶モニタが見えにくいときや、バッテリーの残量が気になる場合などにはファインダーを使った撮影をおすすめします。
- 連写で撮影する場合、液晶モニタには実際の撮影より遅れて画像が表示されます。ファインダーで確認しながら撮影することをおすすめします。

3. ピントを合わせて撮影します

AF エリア

1 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

- シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、半押し中はピントと露出が固定されます（17）。
- ピントはオートフォーカスです。5 つの AF エリアのうち、カメラの一番手前にある被写体と重なっている AF エリアでピントが合います（オート撮影時の初期設定）。
- ピントが合うと使用したAFエリアが緑色に点灯します。

シャッターボタンを半押ししたときのスピードライトランプ、AF ランプは次のとおりです。

状態		意味
スピードライトランプ	点灯	シャッターボタンを押し込むと、スピードライトが発光します。
	点滅	スピードライトが充電中です。
	消灯	スピードライトは発光しません。
AF ランプ（AF エリア／AF 表示）	緑色点灯（緑色点灯）	被写体にピントが合っています。
	緑色点滅（赤色点滅）	被写体にピントを合わせることができません。中央のAFエリアが点滅します。構図を変えて再度ピントを合わせてください。

2 半押ししたまま、ゆっくりとシャッターボタンを押し込み、撮影します。

- シャッターボタンを一気に押すと手ブレの原因になります。シャッターボタンはゆっくりと最後まで押し込んでください。

画像記録中についてのご注意

- 画像の記録中は AF ランプが点滅し、同時に⌛マークが点灯するか内蔵メモリ／ SD カード表示（IN または ▲）が点滅します。
  画像の記録中は、SD カードを取り出したり、バッテリーを抜いたりしないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影した画像や SD カードがこわれたりする場合があります。
- 液晶モニタに⌛マークが表示されるまでは撮影を続けることができます。

バッテリーチェック表示中のスピードライトの使用について

バッテリーチェック表示が液晶モニタに点灯しているときにスピードライトを発光すると、スピードライト充電中は液晶モニタが消灯し、バッテリーの消耗を防ぎます。

オートフォーカスが苦手な被写体について

次のような場合、オートフォーカスではピント合わせができないことがあります。
- 被写体が非常に暗い場合
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない場合（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）を撮影する場合
- 動きの速い被写体を撮影する場合

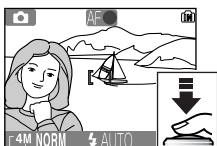
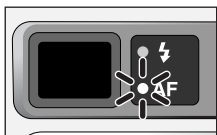
ISO 感度表示について

「撮像感度」とは、カメラが光に対して反応する感度を表したものです。通常、COOLPIX4200 の撮像感度は ISO80 に相当します。
「感度設定」（94）が「オート」の場合、暗い場所でシャッタースピードの低下による手ブレを防ぐためにカメラが自動的に感度を上げることがあります。撮像感度が上がっている状態では、液晶モニタに感度表示（**ISO**）が表示されます。
ISO が表示されているときに撮影された画像は、標準感度に比べ多少ザラついた画像になります。

オートフォーカスの設定について

本機では、オートフォーカス方式の「AF エリア選択」（98）と「AF-MODE」（101）を変更することができます。

AF（AE）ロックについて

シャッターボタンを半押しすると、フォーカスエリアの被写体にピントが合います。そのまま半押しを続けると、ピントと露出はそのまま固定（AF（AE）ロック）されます。AF（AE）ロックは構図を工夫したい撮影や、オートフォーカスが苦手な被写体（32）の撮影などに便利です。ここでは、「AF エリア選択」（98）を「オート（）」（初期設定）に設定した場合の AF（AE）ロックの操作方法を説明します。

1　**シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。**
写したいものが画面の中央になるようにカメラを向け、シャッターボタンを半押しします。
- 5 つのフォーカスエリアのうち、カメラから最も近い被写体にピントが合います。

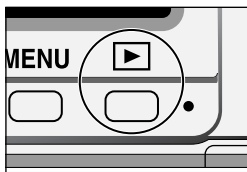
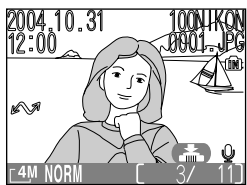
2　**AF ランプを確認します。**
ピントが合うと、ファインダーの横の AF ランプおよび液晶モニタの上にある AF 表示が点灯し、AF エリアが液晶モニタに緑色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししている間はピントと露出が固定されます。

3　**シャッターボタンを半押ししたまま構図を変えます。**
- カメラから被写体までの距離を変えないでください。被写体との距離が変わった場合は、いったんシャッターボタンから指を離し、ピントを合わせ直してください。

4　**シャッターボタンを押し込んで撮影します。**

AF 補助光について

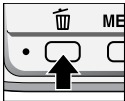
COOLPIX4200 は、AF 補助光を搭載しています。被写体が暗い場合にシャッターボタンを半押しすると AF 補助光が自動的に照射され、被写体を照らしてオートフォーカスでのピント合わせを可能にします。
- 次のような場合に被写体が暗いと、AF 補助光が発光します。
  - 撮影メニューの「AF エリア選択」を「オート（）」または「中央（）」に設定した場合。または「AF エリア選択」を「マニュアル（）」に設定し、中央の AF エリアを選択した場合
  - ポートレート（）でアシスト機能を使用せずに中央のAFエリアを選択した場合（39）
  - 夜景ポートレート（）でアシスト機能を使用せずに撮影する場合（43）
  - クローズアップ（）で撮影するときに、中央の AF エリアを選択した場合
- AF 補助光が届く範囲
  広角側：約 2m まで、望遠側：約 1.5m まで

4. 撮影した画像を確認します（1 コマ再生モード）

1　▶ ボタンを押します。

2　液晶モニタに再生画面が表示されます。

- これを 1 コマ再生モード（61）といいます。
- 最後に撮影された画像が表示されます。
- マルチセレクターの ▲ または◀で前画像を見ることができます。▼ または▶ で次画像を見ることができます。

1 コマ再生モードをキャンセルして撮影モードに戻る場合は、再度▶ ボタンを押してください。

画像再生について

記録した画像を素早く表示できるようにするために、表示を切り換えた直後は画像が粗くなることがあります。

▶ ボタンによる電源 ON

電源が OFF の状態で、▶ ボタンを 2 秒以上押し続けた場合は、再生モードで電源が ON になります。再度 ▶ ボタンを押すと、モードダイヤルに対応した画面に切り換わります。

再生モード

再生モードの詳細については、「いろいろな再生」（61 ～ 80）をご覧ください。

表示中の画像を削除するには

ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。

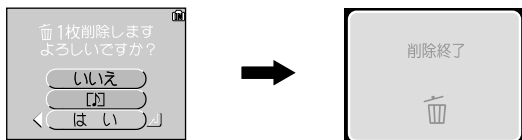
マルチセレクターの▼を押して、「はい」を選択します。

を押すと、表示された画像が削除され、1 コマ再生モードに戻ります。

- 「いいえ」を選択して を押すと、画像が削除されずに 1 コマ再生モードに戻ります。
- 「[♪]」を選択して を押すと、画像に録音された音声メモ（65）のみを削除します。表示された画像に音声メモが録音されているときに選択できます。

撮影モードで画像を削除する場合

撮影モードで ボタンを押すと、最後に撮影した画像を削除できます。確認画面が表示されますので、マルチセレクターの▼を押して、「はい」を選択します。 を押すと画像が削除され、撮影モードに戻ります。

- 「いいえ」を選択して を押すと、削除されずに撮影モードに戻ります。
- 「[♪]」を選択して を押すと、画像に録音された音声メモ（65）のみを削除します。表示された画像に音声メモが録音されているときに選択できます。

ファイル名とフォルダ名

COOLPIX4200 で撮影した画像または編集を行った画像は、カメラが自動的に作成するファイル名で保存されます（例：DSCN0001.JPG）。最初の 4 文字はファイル名を表しており、次の 4 桁の番号は撮影順に連番でつけられます（最初の 4 文字はカメラの液晶モニタには表示されません。パソコンに画像を転送した場合に確認できます）。各ファイル名の最後には、画像のタイプを示す拡張子がつきます。

画像のタイプ		ファイル名	拡張子	
撮影した画像	静止画	DSCN	.JPG	34
	動画	DSCN	.MOV	60
編集を行った画像	スモールピクチャーで作成された画像	SSCN	.JPG	111
	トリミングで作成された画像	RSCN	.JPG	64
録音した音声	音声メモ	DSCN SSCN RSCN	.WAV	65

- ファイルを保存するフォルダはカメラが自動的に作成し、フォルダ名には 3 桁のフォルダ番号がつけられます（例：100NIKON）。
- ひとつのフォルダ内に 200 コマの画像がある場合には、フォルダ番号に 1 を加えた新しいフォルダ（例：100NIKON → 101NIKON）を自動的に作成します。
- パノラマアシスト撮影を行うたびに「P_XXX」フォルダが新しく作成され、ファイル名「DSCN0001」から一連の画像が保存されます（50）。
- パノラマアシストモードで撮影したあとにパノラマアシストモード以外で撮影すると、新規フォルダが自動的に作成され、そのフォルダ内に記録されます。
- フォルダ内のファイル名の画像番号が 9999 に達した場合には、カメラが自動的にフォルダを作成し、その新規フォルダ内で再び 0001 から連番をつけます。
- フォルダ番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が 9999 に達した場合には、内蔵メモリ／ SD カードの記録容量に余裕があっても、それ以上撮影できません。SD カードを交換するか、必要な画像をパソコンに転送してから（68）内蔵メモリ／ SD カードを初期化（125）してください。
- 撮影モードで ▶ ボタンを押すと、番号の最も大きいフォルダの中のファイル番号の最も大きい画像が表示されます。

シーンモードを使うには

COOLPIX4200 では、4 種類のアシスト機能付きシーンモードと 11 種類のシーンモードが用意されています。これらのモードでは、選択された「シーン」に合わせて、カメラが各種機能を最適な状態に設定します。撮影状況や被写体に合ったシーンモードを選択するだけで、シーンに合った撮影が簡単に楽しめます。

アシスト機能付きシーンモード

モードダイヤルで選択します。

アシスト機能付きシーンモード	撮影状況	👁
ポートレート	背景をぼかし、人物を強調させたポートレート写真を撮影したいとき。	39
風景	木々の緑や青空などを強調した風景写真を撮影したいときや、風景をバックにした人物撮影をしたいとき。	41
スポーツ	動きの激しい被写体の一瞬の動きをとらえた躍動感のあるスポーツ写真を撮影したいとき。	42
夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を撮影したいとき。	43

シーンモード

モードダイヤルを SCENE に合わせて、**MENU** ボタンを押します。

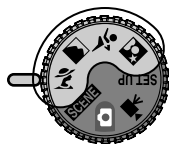
シーンモード	撮影状況	👁
パーティー	パーティー会場などで、キャンドルライトをきれいに写すなど被写体の背景を活かした雰囲気のある撮影をしたいとき。	45
海・雪	晴天の海や湖、砂浜や雪景色を撮影したいとき。	45
夕焼け	美しい赤い夕焼け（朝焼け）を撮影したいとき。	45
トワイライト	夜明け前や日没後のわずかな自然光のなかで、風景を見たままに写したいとき。	46
夜景	きれいな夜景写真を撮影したいとき。	46
クローズアップ	草花や昆虫、小さな被写体などを色鮮やかに撮影したいとき。	47
ミュージアム	スピードライトを発光させたくない場所で撮影したいとき。	47
打ち上げ花火	大きく広がる打ち上げ花火をきれいに撮影したいとき。	47
モノクロコピー	ホワイトボードや印刷物の文字、線画をシャープに複写したいとき。	48
逆光	逆光で人物が影になってしまうときに人物が影にならないように撮影したいとき。	48
パノラマアシスト	複数の画像を組み合わせて 1 つの画像に合成したいとき。	48

思いどおりの画像にならない場合は

撮影状況によっては、選択したシーンモードでは期待どおりの結果にならない場合があります。このような場合は、📷（オート撮影）モードで再度撮影することをおすすめします。

アシスト機能付きシーンモード

モードダイヤルでアシスト機能付きシーンモードを選択します。

アシスト機能を使用すると、液晶モニタに表示されるガイドに被写体を合わせるだけで、ピントや露出の合った撮影が可能です。次の手順でアシスト機能を使用した撮影を行います。

1

モードダイヤルをアシスト機能付きシーンモードに合わせ、**MENU**ボタンを押すと、アシスト機能の選択画面が表示されます。

2

マルチセレクターの▲、▼、◀または▶を押して、使用するアシスト機能を選択します。

3

を押すと、選択したアシスト機能が設定されます。

4

MENU ボタンを押して撮影画面に戻り、表示されるガイドと画像の構図を合わせて撮影します。

ガイド使用時のご注意

- ガイドは目安としてお使いください。被写体をガイドに正確に合わせる必要はありません。
- **被写体をガイドに合わせるときは、周りの状況や足もとをご確認ください。**

画質と画像サイズについて

アシスト機能付きシーンモードから「画質」(83)と「画像サイズ」(84)を設定できます。「画質」または「画像サイズ」のアイコンを選択して を押すと、それぞれの選択画面が表示されます。

画質

画像サイズ

ポートレートモード

人物撮影に使用します。背景をぼかし、人物を浮き立たせて立体感のある画像に仕上げます。アシスト機能を使用すると、被写体が画面の中心になくても、ピントや露出の合った撮影が可能です。

ポートレートモードでは次のアシスト機能が選択できます。モードダイヤルを に合わせて、**MENU** ボタンを押してください（38）。

ポートレート

液晶モニタにガイドは表示されません。「AFエリア選択」が「マニュアル（[::]）」に設定されます。

- AF エリアを被写体に合わせてください（ 100）。

人物左

人物の顔を画面のやや左寄りにアップで撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示されるガイドと重なる部分にピントと露出を合わせます。

人物右

人物の顔を画面のやや右寄りにアップで撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示されるガイドと重なる部分にピントと露出を合わせます。

ウエストショット

人物を腰から上のアップで撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示されるガイドと重なる部分にピントと露出を合わせます。

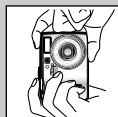
ツーショット

2人並んだ人物を腰から上のアップで撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示される2つのガイドと重なる部分の近い方にピントと露出を合わせます。

縦位置

人物を縦位置で撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示されるガイドと重なる部分にピントと露出を合わせます。

	（赤目軽減自動発光）（モード変更可能）		**OFF**（ON に変更可能）		**OFF** に固定

表中のアイコンについて

表中のはスピードライトモード、はセルフタイマーモード、はマクロモードを示しています。

風景モード

風景写真を撮影したいときに使用します。木々の緑や青空などの輪郭やコントラストを強調して鮮やかな色の画像に仕上げます。アシスト機能を選択すると、風景だけではなく、風景を背景にした人物撮影にも適した撮影が行えます。

風景モードでは次のアシスト機能が選択できます。
モードダイヤルを に合わせて、**MENU** ボタンを押してください（38）。

風景
液晶モニタにガイドは表示されません。
・ フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。

山
遠くの山並みを撮影する場合に適しています。
・ 液晶モニタに２本のガイドラインが横方向に表示されます。山の稜線が上側の黄色い波形のガイドに重なるように構図を合わせます。

建物
建物を撮影する場合に適しています。
・ 構図を合わせやすいように、格子状のガイドを表示します。

左背景
背景を左に、人物を右に配置した構図で撮影する場合に適しています。
・ 背景と人物の両方にピントが合います。

右背景
背景を右に、人物を左に配置した構図で撮影する場合に適しています。
・ 背景と人物の両方にピントが合います。

	（発光禁止） に固定 *		**OFF**（ON に変更可能）		**OFF** に固定

* 「左背景」や「右背景」を選択したときは、「AUTO（自動発光）」に設定されます（モード変更可能）。

スポーツモード

高速シャッターで一瞬の動きを鮮明に写します。動きの速い被写体の一瞬の動きをとらえた躍動感のあるスポーツ写真を撮影したいときに使用します。
アシスト機能を選択すると、連続撮影や、シャッターチャンスを優先した撮影が行えます。

スポーツモードでは次のアシスト機能が選択できます。
モードダイヤルを に合わせて、**MENU** ボタンを押してください（38）。

スポーツ

シャッターボタンを深く押し続けることにより、最高約 1.3 コマ／秒で連続撮影できます。

- 「画質」が「NORMAL」、「画像サイズ」が「4M（2272 × 1704）」の場合、連続で約 11 コマ撮影できます。
- ピント、露出、ホワイトバランスは1コマ目の画像を撮影した条件に固定されます。
- バッテリーチェック表示（）が液晶モニタに表示された場合、連続撮影速度は遅くなります。

スポーツ観戦

- シャッターチャンス優先モードです。最高約 3m 〜∞の距離でピントが合います。
- シャッターボタンを押し続けることにより、最高約1.3コマ／秒で連続撮影できます。連続撮影可能枚数は、「スポーツ」と同じです。
- バッテリーチェック表示（）が液晶モニタに表示された場合、連続撮影速度は遅くなります。

スポーツマルチ連写

シャッターボタンを押し込むと、約 3.5 コマ／秒で 16 コマの連続撮影を行います。

- 画像は4×4コマ（1コマ：568×426ピクセル）に並べられ、1つの画像「4M（2272×1704）」として記録されます。
- ピント、露出、ホワイトバランスは1コマ目の画像を撮影した条件に固定されます。

	（発光禁止） に固定		**OFF** に固定		**OFF** に固定

スポーツモードについてのご注意

「スポーツ（）」、「スポーツマルチ連写（）」では、「AF-MODE」が「常時 AF（C-AF）」（101）に、AF エリアが中央のエリアに固定されます。シャッターボタンの半押しで AF（AE）ロックが行われるまで、カメラは常に AF によるピント合わせを繰り返し行います。

夜景ポートレートモード

夕景や、夜景をバックに人物を撮影したいとき、背景を黒くつぶすことなく、人物も背景も自然に表現できます。アシスト機能を使用すると、被写体が画面の中心になくても、ピントや露出の合った撮影が可能です。

- アシスト機能の内容はポートレートモードの場合と同様です（39）。ただし、夜景ポートレート（ガイドなし）を選択した場合はポートレートモードと異なり、AF エリアが中央に固定されます。
- 手ブレしないように三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。
- ノイズが画像に発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去（102）が行われます。この場合、画像の記録時間が通常より長くなります。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ	
	赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定		**OFF**（ON に変更可能）		**OFF** に固定

SCENE シーンモード

11 種類のシーンモードが選択できます。選択された「シーン」に合わせてカメラが各種機能を最適な状態に設定します。撮影状況や被写体に合ったシーンモードを選択するだけで、複雑な設定をしなくても思いどおりの撮影が簡単に楽しめます。
次の手順でシーンモードを使用した撮影を行います。

1

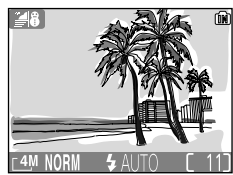
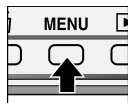
モードダイヤルを SCENE に合わせ、**MENU** ボタンを押すと、シーンモードの選択画面が表示されます。

2

マルチセレクターの▲、▼、◀または▶を押して、使用するシーンモードのアイコンを選択します。

3

Ⓞを押すと、選択したシーンモードが設定されます。

4

MENU ボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。

- 選択したシーンモードのアイコンが液晶モニタの左上に表示されます。

画質と画像サイズについて

シーンモードから「画質」（83）と「画像サイズ」（84）を設定できます。「画質」または「画像サイズ」のアイコンを選択してⓄを押すと、それぞれの選択画面が表示されます。

画質

画像サイズ

シーンモード

シーンモードの内容は次のとおりです。

パーティー

パーティー会場などで、キャンドルライトをきれいに写すなど被写体の背景を活かした雰囲気のある画像に仕上げます。

・手ブレ度合い：★

スピードライト	赤目軽減自動発光（モード変更可能）	セルフタイマー	OFF（ON に変更可能）	マクロ	OFF に固定	測光	AF

海・雪

晴天の海や湖、砂浜や雪景色を明るく鮮やかに撮影します。

スピードライト	AUTO（自動発光）（モード変更可能）	セルフタイマー	OFF（ON に変更可能）	マクロ	OFF（ON に変更可能）	測光	AF

夕焼け

美しい赤い夕焼け（朝焼け）を見たままに美しく表現します。

・手ブレ度合い：★

スピードライト	（発光禁止）に固定	セルフタイマー	OFF（ON に変更可能）	マクロ	OFF に固定	測光	AF

表中のアイコンについて

- 表中のはスピードライト、はセルフタイマー、はマクロモードを示しています。
- は「測光方式」が「マルチ測光」であることを示しています（88）。
- とは AF エリアを示しています（98）。
  —「中央（）」では、画面の中央にピントが合います。
  —「マニュアル（）」では、AF エリアが選択できます。AF エリアの選択方法は、「AF エリア選択」（98 ～ 100）をご覧ください。

手ブレ度合い表示について

手ブレ度合い表示のあるシーンモードでは、被写体の明るさによってシャッタースピードが遅くなります。この場合、手ブレ度合いに応じて、次のようにカメラを固定してください。

★　：脇を締めて、カメラを固定するようにしっかりと構えてください。
★★：三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。

トワイライト（夜明け直前、日没直後）

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中で、風景を見たままに写します。

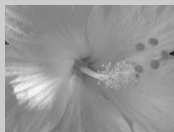
- ノイズが画像に発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われます。この場合、画像の記録時間が通常より長くなります。
- 被写体が暗い場合でも AF 補助光は発光しません。
- 手ブレ度合い：★

	（発光禁止）に固定		**OFF**（ON に変更可能）		**OFF** に固定		

夜景

夜景を撮影する際、スローシャッターで夜景の雰囲気を表現した写真を撮影できます。

- フォーカスは遠景にピントが合うように設定されます。
- ノイズが画像に発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われます。この場合、画像の記録時間が通常より長くなります。
- 被写体が暗い場合でも AF 補助光は発光しません。
- 手ブレ度合い：★★

	（発光禁止）に固定		**OFF**（ON に変更可能）		**OFF** に固定		

クローズアップ（接写）

クローズアップ写真を撮影したいときに使用します。草花や昆虫、小さな被写体などを色鮮やかに撮影することができます。

- 液晶モニタのマクロアイコン（ ）が緑色に表示されるワイド側のズーム位置では、レンズ前約 4cm までの被写体にピントを合わせることができます。
- ズーム位置により最短撮影距離は変化します。
- シャッターボタンの半押しで、AF（AE）ロックが行われるまで常にピント合わせを行います。
- 「AF エリア選択」が「マニュアル（ ）」に設定されます。AF エリアを被写体に合わせてください（ 100）。
- 手ブレ度合い：★

	（発光禁止） （モード変更可能）		**OFF** （ON に変更可能）		**ON** に固定		

ミュージアム（美術館や博物館）

スピードライトの発光が禁止されている美術館など、スピードライトを発光させたくない場所で撮影するときに使用します。

- 「BSS」（ 91）が自動的に「ON」になります。最大 10 コマの連続撮影を自動的に行い、カメラが自動的により鮮明な画像を 1 コマ選択します。
- 美術館、博物館等によっては撮影が禁止されている場合があります。あらかじめご確認ください。
- 被写体が暗い場合でも AF 補助光は発光しません。
- 手ブレ度合い：★

	（発光禁止）に固定		**OFF** （ON に変更可能）		**OFF** （ON に変更可能）		

打ち上げ花火

スローシャッターで、大きく広がる打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- フォーカスは遠景にピントが合うように設定されます。
- 露出補正は使用できません。
- 被写体が暗い場合でも AF 補助光は発光しません。
- 手ブレ度合い：★★

	（発光禁止）に固定		**OFF** に固定		**OFF** に固定	–	–

DaylightSaving *(Daylight Saving Time)*
To turn daylight saving time on or off, highlight **DaylightSaving** and press the center of the multi selector. Selecting daylight saving time automatically advances the time one hour.

The camera supports the following time zones:

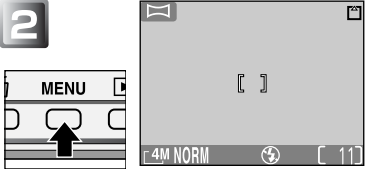
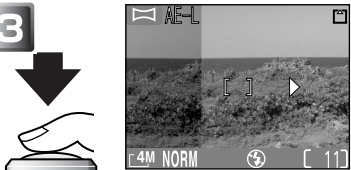
GMT +/–	Location	GMT +/–	Location
GMT –11	Midway, Samoa	GMT +1	Madrid, Paris, Berlin
GMT –10	Hawaii, Tahiti	GMT +2	Athens, Helsinki
GMT –9	Alaska, Anchorage	GMT +3	Moscow, Nairobi
GMT –8	PST (PDT): Vancouver	GMT +4	Abu Dhabi, Dubai
GMT –7	MST (MDT): La Paz	GMT +5	Islamabad, Karachi
GMT –6	CST (CDT): Mexico City	GMT +6	Colombo, Dacca
GMT –5	EST (EDT): Toronto, Lima	GMT +7	Bangkok, Jakarta
GMT –4	Caracas, Manaus	GMT +8	Beijing, Hong Kong, Singapore
GMT –3	Buenos Aires, San Paulo	GMT +9	Tokyo, Seoul
GMT –2	Fernando de Noronha	GMT +10	Sydney, Guam
GMT –1	Azores	GMT +11	New Caledonia
GMT	London, Casablanca	GMT +12	Auckland, Fiji

モノクロコピー（白黒写真、本の複写など）
ホワイトボードや名刺、印刷物の文字などを、シャープに複写することができます。
- 複写するものが赤色、青色などの場合、文字などが薄くなることがあります。

	（発光禁止）（モード変更可能）		**OFF**（ON に変更可能）		**OFF**（ON に変更可能）		

逆光
逆光状態のときに、人物が影にならず美しく撮影することができます。

	（強制発光）に固定		**OFF**（ON に変更可能）		**OFF** に固定		

パノラマアシスト
複数の画像を、最初に撮影した画像と同じホワイトバランスと露出で撮影します。撮影した複数の画像をパソコンに取り込み、パノラマ画像作成ソフトを使用して 1 つの画像に合成する場合に便利です。
- スピードライト、マクロおよび露出補正は1コマ目を撮影したときの設定に固定されます。また、ズームも 1 コマ目を撮影したときの条件に固定されます。

	（発光禁止）（モード変更可能）		**OFF**（ON に変更可能）		**OFF**（ON に変更可能）		

パノラマアシストモードの撮影手順

1

シーンモードの選択画面で、（パノラマアシスト）モードをマルチセレクターで選択し、を押します。

2

MENU ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

3

シャッターボタンを押して最初の画像を撮影します。
パノラマ方向表示（▷）が表示されます。
AE-L アイコンが表示され、露出とホワイトバランスが固定されます。
撮影した画像の約 1/3 が、左側の撮影画面上に半透明に表示されます。

4

先に撮影した画像の絵柄と撮影画面の絵柄が重なるように、構図を合わせます。

シャッターボタンを押して次の画像を撮影します。4、5 の手順を繰り返して、パノラマ画像を構成するすべての画像を撮影します。

を押してパノラマアシスト撮影を終了します。

- **MENU** ボタンによるメニューの表示、再生操作、モードダイヤルの切り換え、またはオートパワーオフの作動でも、パノラマアシスト撮影は終了します。

1 コマ再生モードでの表示について

撮影開始後に ▶ ボタンを押すと、パノラマアシスト撮影を終了し、最後の画像を表示します。

三脚の使用について

パノラマアシストモードで撮影する場合は、三脚を使用すると組み合わせる画像の構図を合わせやすくなります。

パノラマアシストモードで撮影された画像の保存

パノラマアシストモードで撮影を行うたびに、「P_XXX」フォルダ（例：101P_001）が新しく作成され、一連の画像が保存されます。

ϟ 暗いところでは—スピードライトの使い方

撮影目的や撮影意図に合わせて5種類のスピードライトモードを選択できます。

モード	機能	使用場面
ϟAUTO 自動発光	被写体が暗い場合にスピードライトが自動的に発光します。	• 一般的なスピードライト撮影をする場合に使用します。
ϟ👁 赤目軽減自動発光	人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。スピードライトが発光する前にあらかじめ数回小発光することに加え、カメラが赤目現象を検出すると赤目を画像補正して記録します。	• ポートレート撮影に使用します（撮影の際、被写体の人物にスピードライトが小発光するのをしっかり見てもらうと効果が上がります）。 • シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません。
発光禁止	スピードライトの発光を禁止します。	• 暗い場所でも自然光で撮影したい場合、またはスピードライトの使用が禁止される場所で撮影するときに設定します。 • 手ブレ警告表示（✋）が表示される場合は手ブレに注意して撮影してください。
ϟ 強制発光	被写体の明るさに関係なく、必ずスピードライトが発光します。	• 昼間の屋外撮影などで顔に影がかかる場合などに使用します。
スローシンクロ	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。	• 夕景や夜景を背景とした人物撮影などで、遠くの背景も近くの人物もきれいに写したい場合に使用します。 • 手ブレ警告表示（✋）が表示される場合は、手ブレに注意して撮影してください。

1

撮影時にマルチセレクターの▲（ϟ）を押すと、スピードライトモードのリストが表示されます。

2

▲または▼を押して、設定したいモードのアイコンを選択し、Ⓞまたは▶を押します。
- スピードライトモードが設定され、液晶モニタに選択したモードのアイコンが表示されます。
- ボタン操作をしないまま 2 秒以上経過すると、元の設定のままリストを閉じます。

「AF エリア選択」を「マニュアル（[▫]）」に設定した場合

「AF エリア選択」(98)で「マニュアル([▫])」(100)を選択し、液晶モニタに「AF エリア選択ガイド」が表示されている場合は、を押して「AF エリア選択ガイド」を非表示にして、▲()を押してください。

暗い場所で撮影するときのご注意

「発光禁止()」に設定して暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、液晶モニタに手ブレ警告表示()が表示されますので、三脚などでカメラを安定させて撮影してください。このような状況で撮影された画像にはノイズが発生する場合があります。

スピードライトモードについてのご注意

次の場合、スピードライトは発光しません。

- 「連写()」、「サーキュラー連写()」または「マルチ連写()」で撮影する場合(89)
- 「BSS」で撮影する場合（91）
- 「ブラケティング」で撮影する場合（95）
- 一部のアシスト機能付きシーンモード(38 ～ 43)またはシーンモード(44 ～ 48)で撮影する場合

赤目軽減自動発光についてのご注意

COOLPIX4200 の赤目軽減自動発光はアドバンスト赤目軽減方式です。スピードライトの小発光による赤目軽減に加え、カメラが赤目現象を検出すると赤目部分を画像補正して記録します。そのため、次のシャッターが切れるようになるまでの時間が通常より若干長くなります。撮影状況によっては、期待どおりの効果が得られない場合があります。また、ごくまれに赤目以外の部分が補正される場合がありますが、このような場合は、ほかのスピードライトモードで再度撮影することをおすすめします。

調光範囲

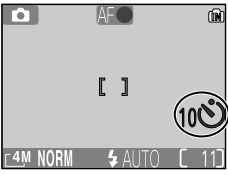
調光範囲：約 0.3 ～ 4.5m（広角側）、約 0.3 ～ 3.5m（望遠側）
（感度設定オートのとき）

近距離撮影時のご注意

30cm よりも近距離側でスピードライトを使用すると、光が充分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。テスト撮影をして、液晶モニタで画像をご確認ください。

カメラから離れて撮影するには—セルフタイマーの使い方

セルフタイマーを使用すると、シャッターボタンを押してから 10 秒後または 3 秒後に撮影が行われます。撮影者自身が写りたいときや、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防ぎたいときなどに便利です。

1

撮影時にマルチセレクターの◀（セルフタイマー）を押すと、セルフタイマーモードのリストが表示されます。

2

▼を押して、「セルフタイマー ON」を選択します。

3

決定ボタンまたは▶を押すとセルフタイマーモードがONに設定され、セルフタイマーアイコンが液晶モニタに表示されます。

- ボタン操作をしないまま 2 秒以上経過すると、元の設定のままリストを閉じます。

4

構図を決め、シャッターボタンを半押ししてピントと露出を合わせます。

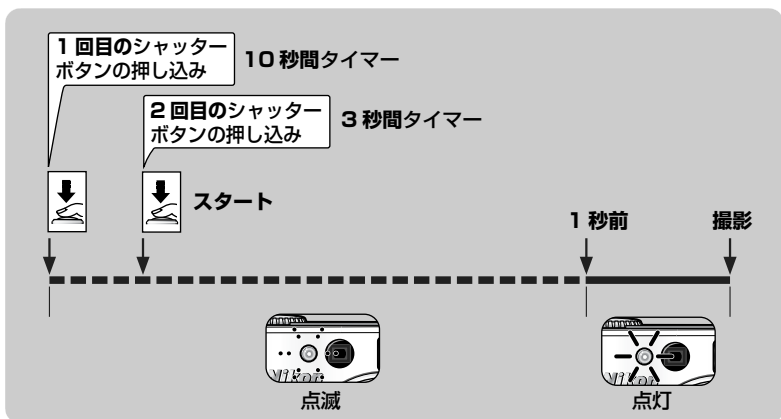
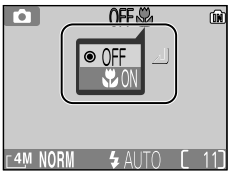
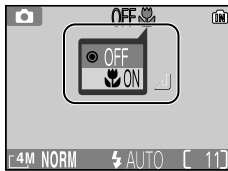
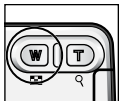
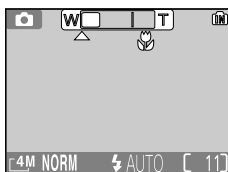
「AF エリア選択」を「マニュアル（[·]）」に設定した場合

「AF エリア選択」（98）で「マニュアル（[·]）」（100）を選択し、液晶モニタに「AF エリア選択ガイド」が表示されている場合は、決定ボタンを押して「AF エリア選択ガイド」を非表示にして、◀（セルフタイマー）を押してください。

5

シャッターボタンを半押ししたままさらに深く押し込んで、セルフタイマーを作動させます。
シャッターボタンを 1 回押すと 10 秒間タイマー、2 回続けて押すと 3 秒間タイマーに切り換わります。

- 撮影までの秒数を示すカウントダウン表示が赤色で表示されます。

- セルフタイマーが作動すると、カメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。シャッターがきれる直前になると、約 1 秒間点灯します。

セルフタイマーを停止するには

作動中のセルフタイマーを停止するには、10 秒間セルフタイマー作動時は 2 回、3 秒間セルフタイマー作動時は 1 回シャッターボタンを押してください。

セルフタイマー使用時のご注意

- セルフタイマーを使用するときは、三脚などでカメラを安定させてください。
- 一部のアシスト機能付きシーンモード（38 ～ 43）やシーンモード（44 ～ 48）では、セルフタイマーを「ON」に設定できません。
- セルフタイマーで撮影するときは、「連写（）」、「マルチ連写（）」、「サーキュラー連写（）」、「BSS」、「ブラケティング」は使用できません。「連写（）」、「マルチ連写（）」、または「サーキュラー連写（）」が設定されていた場合は、自動的に「単写（S）」に設定されます。「BSS」または「ブラケティング」が設定されていた場合は、セルフタイマーを ON にしている間は「BSS」と「ブラケティング」の設定は自動的に OFF になります。

いろいろな撮影

手軽に接写するには—マクロモードの使い方

マクロモードを ON にすると、最短 4cm まで被写体に近づいて近接撮影を行うことができます。

1

撮影時にマルチセレクターの▼（マクロ）を押すと、マクロモードのリストが表示されます。

2

▼を押して、「マクロ ON」を選択します。

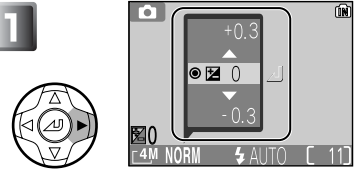
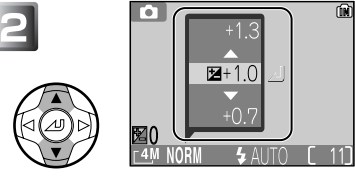
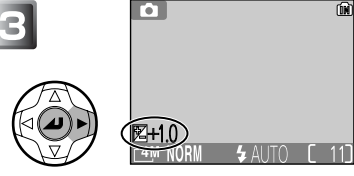
3

決定ボタンまたは▶を押すとマクロモードが ON に設定され、マクロアイコンが液晶モニタに表示されます。

- ボタン操作をしないまま 2 秒以上経過すると、元の設定のままリストを閉じます。

4

構図を決めます。

- ズーム表示下の △の位置では、液晶モニタのマクロアイコンが緑色に表示され、レンズ前約4cmまでの被写体にピントを合わせることができます。

「AF エリア選択」を「マニュアル（[▫]）」に設定した場合

「AF エリア選択」（98）で「マニュアル（[▫]）」（100）を選択し、液晶モニタに「AF エリア選択ガイド」が表示されている場合は、決定ボタンを押して「AF エリア選択ガイド」を非表示にして、▼（マクロ）を押してください。

マクロモードについてのご注意

- マクロモードで近接撮影する場合は、ファインダーで確認した構図と実際に写る範囲の間にズレが生じますので、液晶モニタを見て構図を決めてください。
- アシスト機能付きシーンモード（38 ～ 43）や一部のシーンモード（44 ～ 48）では、マクロモードを「ON」に設定できません。

露出を補正して撮影するには―露出補正の使い方

カメラが決めた適正露出値を意図的に変えることを露出補正といいます。露出補正は－ 2.0EV から＋ 2.0EV の範囲で補正できます。

1

撮影時にマルチセレクターの▶（露出補正）を押すと、露出補正のリストが表示されます。

2

▲または▼を押して、設定したい露出補正値を選択します。

3

決定ボタンまたは▶を押すと露出補正が設定され、液晶モニタに露出補正アイコンと選択した露出補正値が表示されます。

- 露出補正値を「0」以外に設定すると、露出補正アイコンと露出補正値が液晶モニタに表示されます。
- ボタン操作をしないまま 2 秒以上経過すると、元の設定のままリストを閉じます。

「AF エリア選択」を「マニュアル（[∙]）」に設定した場合

「AF エリア選択」（98）で「マニュアル（[∙]）」（100）を選択し、液晶モニタに「AF エリア選択ガイド」が表示されている場合は、決定ボタンを押して「AF エリア選択ガイド」を非表示にして、▶（露出補正）を押してください。

露出補正をキャンセルするには

露出補正をキャンセルするには、露出補正値を 0 に設定してください。（オート撮影）モードでは、電源を OFF にしても設定されていた露出補正値が記憶されます。（オート撮影）以外のモードでは、モードダイヤルを切り換えたり、電源を OFF にすると撮影モードごとの初期設定に戻ります。

露出補正についてのご注意

シーンモードを「打ち上げ花火（）」（47）にしているときは、露出補正は設定できません。

露出補正値の選択

- 構図の大部分が非常に明るい場合（太陽が反射する水や砂、雪を撮影する場合など）、背景が被写体よりも明るすぎる場合は、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。
  被写体が暗すぎるときは補正値を「＋」側に設定してください。
- 構図の大部分が非常に暗い場合（濃い緑の森を撮影する場合など）、背景が被写体よりも暗すぎる場合は、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。
  被写体が明るすぎるときは補正値を「－」側に設定してください。

動画の種類を選択する

動画撮影では再生の目的に応じて次の動画メニューから選択できます。

設定	内容	撮影総記録時間 *		
		内蔵メモリ	SD カード	
		約 12MB	256MB	512MB
TV **TV 再生 640** (初期設定)	カラーの動画を画像サイズ 640 × 480 ピクセル、15 フレーム/秒で撮影します。	約 5 秒	約 348 秒	約 702 秒
カメラ再生 320	カラーの動画を画像サイズ 320 × 240 ピクセル、15 フレーム/秒で撮影します。	約 39 秒	約 785 秒	約 1583 秒
LP **長時間再生 160**	カラーの動画を画像サイズ 160 × 120 ピクセル、15 フレーム/秒で撮影します。画像サイズが小さいため、他の動画と比べて、より長時間の撮影が可能となります。	約 146 秒	約 2896 秒	約 5841 秒

* 記載されている撮影総記録時間はおおよその目安です。SD カードに記録する場合は、同じ容量でも種類によって撮影総記録時間は異なります。

動画は拡張子が「.MOV」の「Quick Time ムービーファイル」として記録されますので、パソコンに転送して再生することもできます。

1. モードダイヤルを🎥に合わせます。

2. **MENU** ボタンを押すと、動画メニューが表示されます。

3. マルチセレクターの▲または▼を押して、動画の種類（57）を選択します。

4. を押すと選択した動画メニューが設定されます。

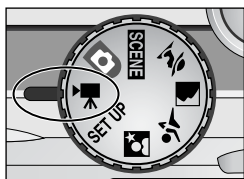
5. **MENU** ボタンを押すと、動画撮影画面に戻ります。

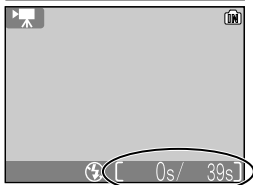
動画撮影時のオートフォーカスモードについて

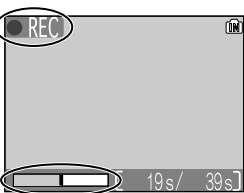
撮影メニューの「AF-MODE」（101）の設定により、動画撮影時のオートフォーカスモードが変更されます。

- 「常時 AF（C-AF）」：動画撮影中も常にピント合わせを繰り返します。撮影中はカメラの動作音が録音される場合があります。動作音が気になる場合は、「シングル AF（S-AF）」に設定して撮影することをおすすめします。
- 「シングル AF（S-AF）」：シャッターボタンを半押ししている間のみピント合わせを行い、ピントが合うと AF（AE）ロックを行います。撮影を開始すると、シャッターボタンを押し込んだときのピントに固定されます。

動画の撮影

COOLPIX4200 では動画（音声付き）を撮影できます。

1 カメラのモードダイヤルを動画に合わせます。

液晶モニタに録画経過時間と撮影可能な総記録時間（秒）が表示されます。

2 シャッターボタンを押して、撮影を開始します。

- ピントは画面中央にある被写体に合います（58）。
- 撮影中は液晶モニタに ● REC が点滅し、進行状況を示すバーが表示されます。
- もう一度シャッターボタンを押すと、撮影を終了します。
- 記録容量がなくなった場合も自動的に終了します。

動画モードでの設定について

- 動画撮影前は、光学ズームと 2.5 倍までの電子ズームを使用できます。動画撮影中は、電子ズームのみ 2.5 倍まで使用できます。
- 動画モードでは、次の機能は固定されます。
  - スピードライトモード（51）→「発光禁止（）」
  - セルフタイマー（53）→「OFF」
  - 露出補正は使用できません。
  - 「ホワイトバランス」（86）→「オート（A-WB）」
  - 「測光方式」（88）→「マルチ（）」

動画撮影についてのご注意

- SD カードの種類によっては、表示された記録時間いっぱいまで撮影できず、「画像を登録できません」と表示され撮影を終了する場合があります（136）。
- 動画の撮影中はカメラのマイク（12）に触れないようにご注意ください。
- 撮影総記録時間の表示は最大 9999 までです。9999 秒以上撮影できる場合でも 9999 と表示されます。

動画の再生

1 コマ再生モード時に（61）、動画を音声と同時に再生することができます。アイコンがついている画像を表示し、マルチセレクターのを押すと動画を再生できます。動画再生画面では画面上部に操作アイコンが表示されます。マルチセレクターの◀または▶を押して選択し、を押すと選択した操作を実行します。

機能	ボタン	内容
巻き戻す	◀◀	動画の再生中に、マルチセレクターで◀◀を選択し、を長く押し続けると、動画を巻き戻しながら再生します。
早送りする	▶▶	動画の再生中に、マルチセレクターで▶▶を選択し、を長く押し続けると、動画を早送りしながら再生します。最後のフレームまで早送りすると再生が終了します。
一時停止する	❚❚	動画の再生中に、マルチセレクターで❚❚を選択し、を押すと、動画は一時停止します。
一時停止中に1 フレーム戻る	◀❚❚	動画の一時停止中に、マルチセレクターで◀❚❚を選択し、を押すと、1 フレーム前の画像をコマ送りで戻します。
一時停止中に1 フレーム送る	❚❚▶	動画の一時停止中に、マルチセレクターで❚❚▶を選択し、を押すと、1 フレーム後の画像をコマ送りで再生します。
再生を再開する	▶	一時停止中に、マルチセレクターで▶を選択し、を押すと、再生を再開します。
再生を終了する	■	動画の再生中に、マルチセレクターで■を選択し、を押すと、1 コマ再生モードに戻ります。

音量を変更するには

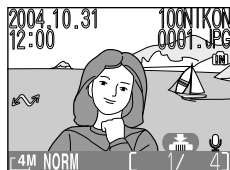
動画の再生中に（**W**）ボタンを押すと音量は小さくなり、（**T**）ボタンを押すと音量は大きくなります。

動画ファイルの削除

ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▼を押して「はい」を選択し、を押すと動画ファイルが削除されます。
「いいえ」を選択してを押すと、動画ファイルを削除せずに再生モードに戻ります。

カメラで再生する

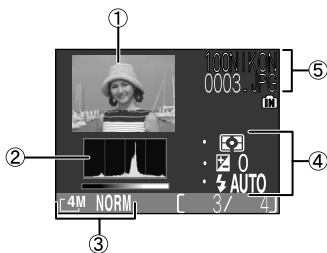
1 コマ再生モード

▶ボタンを押すと、「1 コマ再生モード」になります。
- ⊛を押すと、ヒストグラムを表示することができます（👁62）。
- 再生中に ▶ボタンを押すと、モードダイヤルに対応した画面に戻ります。

サムネイル再生モード

1 コマ再生モードのときに ▦（**W**）ボタンを押すと、液晶モニタに 4 コマの縮小した画像（サムネイル画像）が表示される「サムネイル再生モード」になります。

機能	ボタン	内容
画像を選択する	マルチセレクター	マルチセレクターの▲、▼、◀または▶を押して画像を選択します。
表示コマ数を変更する	▦（**W**）、🔍（**T**）	・4 コマ表示のときに ▦（**W**）ボタンを押すと、サムネイル画像の 9 コマ表示になります。 ・9 コマ表示のときに 🔍（**T**）ボタンを押すと 4 コマ表示になります。 ・4 コマ表示のときに 🔍（**T**）ボタンを押すと 1 コマ再生モードになります。
画像を削除する	🗑	🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▼を押して「はい」を選択し、⊛を押すと、選択した画像が削除されます。 （画面表示：🗑1枚削除します よろしいですか？ / いいえ / [♪] / はい） ・「いいえ」：画像を削除せずに再生画面に戻ります。 ・「[♪]」：音声メモが録音された画像の音声メモのみを削除します（👁65）。
1 コマ再生モードに戻る	⊛	選択されている画像を1コマ再生モードで表示します。

ヒストグラム表示

1 コマ再生モードのときに ⓦ を押すと、ヒストグラムを確認することができます。

① サムネイル画像

② ヒストグラム
- 明るさの分布を表示：横軸は輝度［左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなる］を示し、縦軸は画素数を示します。
- 軸のスケールは画像の画素数の最大値により最適化されて表示されます。

③ 画像モード（画質／画像サイズ）

④ 撮影情報
（測光方式、露出補正値、スピードライトモード）

⑤ フォルダ名
ファイル名

内蔵メモリの画像について

内蔵メモリと SD カードの画像を同時に再生することはできません。内蔵メモリに記録された画像は、次のどちらかの方法で再生してください。
- SD カードを取り出して（21）から再生する。
- 内蔵メモリの画像を SD カードにコピーして再生する（112）。

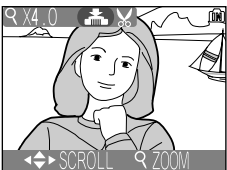
撮影情報の表示について

1 コマ再生モードや撮影画面に表示される撮影情報の表示方法を設定できます。セットアップメニューの「モニタ設定」（121）をご覧ください。

動画について

動画はヒストグラム表示することはできません。

拡大表示モード

▶ボタンを押して1コマ再生モードに入り、🔍(**T**)ボタンを押すと、表示された画像を拡大表示できます。

機能	ボタン	内容
画像を拡大表示する	🔍(**T**)	押すごとに画像を拡大表示し、最大約6倍まで拡大できます。拡大表示中は🔍アイコンと拡大倍率が液晶モニタの左上に表示されます。
画像の他の部分を表示する	(マルチセレクター)	マルチセレクターの▲、▼、◀または▶を押すと、画像をスクロールさせて、見たい部分に移動することができます。
拡大倍率を下げる	⊞(**W**)	拡大表示中に⊞(**W**)ボタンを押すと、拡大倍率が下がります。元の1コマ再生モードと同じ拡大倍率まで下がると、拡大表示はキャンセルされます。前後の画像を見るときは、拡大表示をキャンセルしてからマルチセレクターを操作してください。
1コマ再生モードに戻る	⏎	拡大表示中に⏎を押すと、拡大表示をキャンセルして1コマ再生モードに戻ります。
トリミング画像を作成する	シャッターボタン	画像を表示部分のみにトリミングします(64)。
画像を削除する	🗑	🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▼を押して「はい」を選択し、⏎を押すと、選択した画像が削除されます。 🗑 1枚削除します よろしいですか? / いいえ / [♪] / は い ・「いいえ」:画像を削除せずに1コマ再生モードに戻ります。 ・「[♪]」:音声メモが録音された画像の音声メモのみを削除します(65)。

拡大表示についてのご注意

動画(59)、スモールピクチャー(111)、320 × 240 以下にトリミングされた画像(64)は、拡大表示できません。

画像をトリミングする

拡大表示（63）中の画像を表示部分のみにトリミングして、元の画像とは別に新しい画像を作成します。

1

▶ボタンを押して1コマ再生モードに入り、Q（T）ボタンを押して画像を拡大表示にします。
Q（T）または ▦（W）ボタンで好みの大きさにします。▲、▼、◀または▶を押してトリミングしたい部分を表示します。

2

シャッターボタンを押すと、確認画面が表示されます。
▼を押して「はい」を選択し、⏎を押すと、トリミングされた画像が作成されます。

- キャンセルする場合は「いいえ」を選択して、⏎を押します。

- トリミングで作成された画像は、元の画像とは別の画像として JPEG 形式で保存されます。
- トリミングで作成された画像の画像サイズは、拡大倍率により異なります。次のうちから最適なものをカメラが自動的に選択します（単位：ピクセル）。
  - 2048 × 1536 3M
  - 1600 × 1200 2M
  - 1280 × 960 PC
  - 1024 × 768 PC
  - 640 × 480 TV
  - 320 × 240
  - 160 × 120
- ファイル名は、先頭文字「RSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に 1 を加えた番号）を付けた名前（拡張子は .JPG）となります。
  例：RSCN0015.JPG
- トリミングで作成された画像の撮影日時は、元の画像と同じです。

トリミングする場合のご注意

- スモールピクチャー（111）およびトリミングで作成された画像をトリミングすることはできません。
- COOLPIX4200 でトリミングした画像は、COOLPIX4200 以外のデジタルカメラでは正常に表示できない場合やパソコンに転送できない場合があります。

音声メモを録音する／再生する

アイコンが表示されている画像の 1 コマ再生中（61）にシャッターボタンを押すと、カメラのマイク（12）を使用して音声メモを録音することができます。

機能	ボタン	内容
録音する	シャッターボタン	シャッターボタンを押している間、最長約 20 秒の音声メモを録音できます。シャッターボタンから指を離すか、約 20 秒経過すると、録音が終了します。 • 音声メモを録音できる画像には、（音声メモ録音ガイド）が表示されます。 • 録音中は ● REC が点滅します。
再生する	シャッターボタン	音声メモが録音された画像には、1 コマ再生モードのときに♪アイコンと（音声メモ再生ガイド）が表示されます。 シャッターボタンを押すと、音声メモを再生します。もう一度押すか、録音内容が終了すると再生を終了します。
音量を変更する	(W) (T)	音声メモの再生中に（**W**）ボタンを押すと音量は小さくなり、（**T**）ボタンを押すと音量は大きくなります。
音声メモを削除する	🗑	🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▼を押して、「♪」を選択し、を押すと音声メモのみが削除されます。 • 「いいえ」：画像と音声メモは削除されません。 • 「はい」：画像と音声メモが削除されます。

録音された音声メモの保存

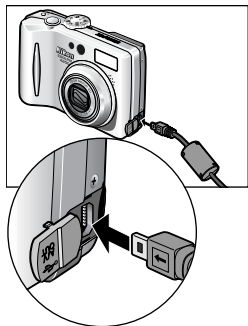
音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じファイル番号に拡張子「.WAV」がつきます（例：DSCN0015.WAV）。

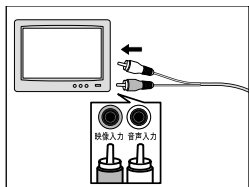
音声メモについてのご注意

- サムネイル再生モード（👁61）および拡大表示モード（👁63）のときは、音声メモの録音および再生はできません。
- 動画（👁60）に音声メモを録音することはできません。
- すでに音声メモが録音されている画像に対して、音声メモを録音することはできません。その場合、いったん音声メモのみを削除してから、再度音声メモを録音してください。
- 音声メモの録音中はカメラのマイクに触れないようにご注意ください。

テレビで再生する

付属のオーディオビデオケーブル EG-CP14（以下 AV ケーブル）を使用して、撮影された画像をテレビやビデオデッキで再生することができます。

1 カメラの電源を OFF にします。

2 AV ケーブルをカメラに接続します。

- 端子カバーを開け、AV ケーブルの黒いプラグをカメラのオーディオビデオ出力端子に接続します。

3 AV ケーブルを映像機器に接続します。

- AVケーブルの黄色のプラグをテレビやビデオデッキなどの映像入力端子に、白色のプラグを音声入力端子に接続します。

4 映像機器の入力をビデオ入力または外部入力に切り換えます。

- 詳しくは映像機器の使用説明書をご覧ください。

5 ▶ボタンを 2 秒以上押して、カメラの電源を ON にします。

- 撮影された画像がテレビに表示され、カメラの液晶モニタは点灯しません。

ビデオ出力について

COOLPIX4200 とテレビまたはビデオデッキを接続する前に、セットアップメニューの「ビデオ出力」（127）で、ビデオ出力形式を確認してください（初期設定は「NTSC」です）。

パソコンで再生する

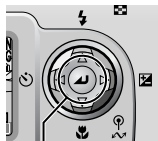
付属の USB ケーブル UC-E6 と付属のソフトウェアを使用して、撮影した画像をパソコンで再生することができます。画像を転送する前に、付属のソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。インストール方法、転送方法については、クイックスタートガイドおよび付属のソフトウェアのリファレンスマニュアル(CD-ROM)をご覧ください。

カメラとパソコンを接続する前に

カメラからパソコンへ画像を転送するには 2 つの方法があります。

- カメラの（転送）ボタンを使用する方法（109）
- 付属のソフトウェアの転送ボタンを使用する方法

（転送）ボタン

どちらの方法を使用するかは、ご使用のパソコンの OS（オペレーティングシステム）およびカメラとパソコンの通信方式の組み合わせで決まります。通信方式は以下の表を参考にして、セットアップメニューの「USB」で設定してください。初期設定は「Mass Storage」に設定されています。

OS	カメラの（転送）ボタン	付属のソフトウェアの転送ボタン
	USB 通信方式	
Windows XP Home Edition Windows XP Professional	**Mass Storage** または **PTP**	**Mass Storage** または **PTP**
Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition (Me) Windows 98 Second Edition (SE)	**Mass Storage**	**Mass Storage**
Mac OS X(10.1.5 以降)	**PTP**	**Mass Storage** または **PTP**

SD カード書き込み禁止スイッチのご注意

SDカードの書き込み禁止スイッチを「Lock」にすると、カメラの（転送）ボタンで画像を転送することができません。画像を転送するときには、「Lock」を解除してください（21）。

USB 通信方式を設定する

1

モードダイヤルを SET UP に合わせ、電源をONにすると、セットアップメニューが表示されます。

2

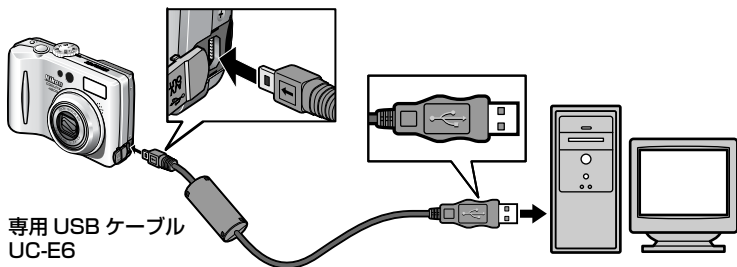
マルチセレクターの▼を押して「USB」を選択し、▶を押します。

3

▼または▲を押して、ご使用のOSに対応したUSB通信方式を選択します。Ⓞを押すとUSB通信方式が設定されます。

付属の USB ケーブルでパソコンに接続する

カメラの電源が OFF になっていることを確認して、カメラと起動したパソコンを付属の USB ケーブル UC-E6 で下図のように接続します。接続が完了したらカメラの電源を ON にし、画像をパソコンに転送します。画像の転送方法については、クイックスタートガイドをご覧ください。

専用 USB ケーブル
UC-E6

Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE をご使用の場合のご注意

上記 OS をご使用の場合には、セットアップメニューの「USB」を「PTP」に設定しないでください。

「USB」を「PTP」に設定して、上記 OS のパソコンと接続した場合には、一度下記の要領でパソコンとの接続を外してください。

Windows 2000 Professional の場合：
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows Me の場合：
「ハードウェア情報データベースの更新」のあとに「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows 98SE の場合：
「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

再度パソコンと接続する場合は、必ず「USB」を「Mass Storage」に変更したあと、パソコンと接続してください。

USB ハブについて

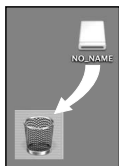
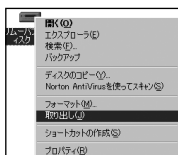
USB ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

カメラとパソコンの接続を外すには

USB 通信方式が「PTP」の場合：

カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

USB 通信方式が「Mass Storage」の場合：

必ず次の操作をしてからカメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

- Windows XP Home Edition/Professional の場合
  パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして「USB 大容量記憶装置デバイスードライブ(E:)を安全に取り外します」* を選択してください。

- Windows 2000 Professional の場合
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして「USB 大容量記憶装置デバイスードライブ(E:)を停止します」* を選択してください。

- Windows Me の場合
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして「USB ディスクードライブ(E:)の停止」* を選択してください。

- Windows 98SE の場合
  マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。

  * 「ドライブ(E:)」の E はご使用のパソコンによって異なります。

Mac OS X

- Mac OS X の場合
  デスクトップ上の「NO_NAME」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

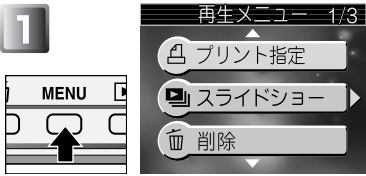
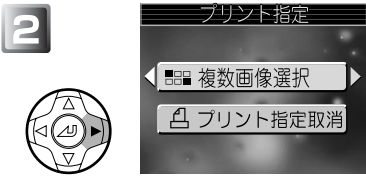
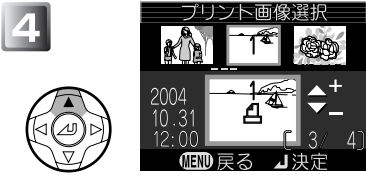
画像をプリントする

内蔵メモリ／ SD カードに記録した画像は、従来の写真のようにプリントしたり、日付や撮影情報を付けてプリントすることができます。

プリントするには

記録した画像は、次の方法でプリントすることができます。

<table>
<tr><th>プリントする方法</th><th>SD カード</th><th>内蔵メモリ</th><th></th></tr>
<tr><td>デジタルプリントサービス取扱店に依頼する</td><td>「プリント指定」* で DPOF を設定したSDカードをデジタルプリントサービス取扱店に持参してプリントを依頼します。</td><td rowspan="2">SDカードに画像をコピー（112）して、左記の方法でプリントします。デジタルプリントサービス取扱店によっては、カメラを持参してプリントを依頼できる場合があります。</td><td>73</td></tr>
<tr><td>カードスロット付き家庭用プリンタでプリントする</td><td>「プリント指定」* で DPOF を設定したSDカードをカードスロット付きプリンタにセットしてプリントします。</td><td>73</td></tr>
<tr><td>PictBridge 対応プリンタを使う</td><td colspan="2">カメラと PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンタを直接、USB ケーブルで接続してプリントします。</td><td>76</td></tr>
<tr><td>パソコンに画像を転送してプリントする</td><td colspan="2">詳しくは、付属のソフトウェアのリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。</td><td>–</td></tr>
</table>

* 「プリント指定」を設定しないと、すべての画像が 1 枚ずつプリントされます。

写真に日付をプリントするには

- 撮影前にセットアップメニューの「デート写し込み」で設定する（75、122）。
- 再生メニューの「プリント指定」で DPOF 設定を行う（73 ～ 75）。
- 画像をパソコンに転送し、付属のソフトウェアのプリント設定を行う。詳しくは付属のソフトウェアのリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

プリント指定

プリントする画像の選択や枚数の指定、画像に写し込む撮影日時や撮影情報などの設定をあらかじめ行うことができます。
これらの内容を設定した SD カードを、DPOF 対応のデジタルプリントサービス取扱店に持ち込むか、または DPOF 対応のカードスロット付き家庭用プリンタに装着することにより、指定どおりにプリントすることができます。また、カメラと PictBridge 対応のプリンタを接続してプリントするときも「プリント指定」の設定を使用できます（76）。

1

▶を押して画像を再生しているときに **MENU** ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。「プリント指定」を選択して▶を押します。

2

「複数画像選択」が選択されていることを確認し、▶を押します。

- 「プリント指定取消」を選択すると、すべてのプリント指定を取り消します。

3

◀または▶を押して、プリントしたい画像を画面下部に表示させます。

- 画面下部には、縮小表示（画面上部）の中央の画像が表示されます。

4

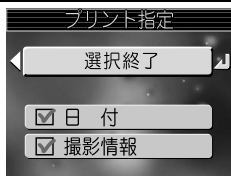
▲（+）を押して、プリント指定を設定します。
設定された画像には 1（枚数）と アイコンが表示されます。

いろいろな再生

DPOF について

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）はデジタルカメラで撮影した画像の中からプリントする画像や枚数、撮影情報、日付の情報をメモリカードに記録するためのフォーマットです。「プリント指定」どおりにプリントする場合は、デジタルプリントサービス取扱店またはご使用のプリンタが DPOF に対応しているか、あらかじめご確認ください。

必要に応じて、プリントする枚数を変更します。

- ▲（+）を押すとプリント枚数は増加し（最高9枚）、▼（−）を押すと減少します。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数が 1 のときに▼（−）を押します。
- 手順３～５を繰り返して、プリントする画像と枚数を設定します。
- プリント指定を設定せずに再生メニューに戻る場合は、**MENU** ボタンを押します。

を押すと画像の選択が完了し、プリント指定画面が表示されます。を押して設定を終了する前に、▲または▼を押して、プリント上に印字する情報を必要に応じて選択します。

- 選択したすべての画像に撮影日をプリントする場合は、「日付」を選択してを押し、「日付」の前の☐に✔を入れます。
- 選択したすべての画像にシャッタースピードと絞り値をプリントする場合は、「撮影情報」を選択してを押し、「撮影情報」の前の☐に✔を入れます。
- 選択した項目の✔を解除する場合は、その項目を選択してを押します。
- 「日付」や「撮影情報」を設定したら、「選択終了」を選択してまたは▶を押します。
- プリント画像選択に戻るには、◀を押します。

プリント指定のリセット

「プリント指定」を設定したあとプリントするまでは、「プリント指定」メニューを再表示しないでください。「プリント指定」メニューを再表示した場合、「日付」と「撮影情報」の設定はリセットされますので、再度設定を行ってください。

「プリント指定」と「デート写し込み」との違いについて

再生メニューの「プリント指定」（73）とセットアップメニューの「デート写し込み」で行う日付の写し込みには次のような違いがあります。

- 「プリント指定」で「日付」を設定する場合：
  - DPOF の日付機能に対応しているプリンタでプリントした場合のみ、日付が写し込まれた状態でプリントされます。
  - 撮影したあとに設定します。
  - 設定しても、日付は画像上には写し込まれません。日付が DPOF の設定ファイルに記録されます。プリント時に、日付が画像上に写し込まれたようにプリントされます。日付のプリント位置はご使用のプリンタの設定により異なります。
- 「デート写し込み」で日付の写し込みを設定する場合：
  - 画像上に写し込まれているため、特別な設定を行わなくても、日付が写し込まれた状態でプリントされます。
  - 撮影前に設定する必要があります。
  - 設定すると、日付が画像上に写し込まれます。日付のプリント位置は画像の右下です。
  - 写し込まれた日付は、画像上から消すことができません。
- 「デート写し込み」と「プリント指定」を両方とも設定した場合は、DPOF 対応プリンタを使用しても「デート写し込み」による日付のみがプリントされます。

日付のプリントについて

プリントされる日付は、撮影のときにカメラに設定されていた日時です。撮影後にセットアップメニューの「日時設定」を変更しても、プリントされる日付は変更されません。日時が設定されていない状態で撮影された画像は、「プリント指定」で日付に ✔ を入れても日付はプリントされません。

プリント指定のコマ数について

プリント指定できる画像は 999 コマまでです。

プリント指定表示

プリント指定した画像は、再生モードで アイコンが表示されます。

ダイレクトプリント

このカメラは、ダイレクトプリント機能(PictBridge ーピクトブリッジー規格)を搭載しています。カメラと PictBridge 対応のプリンタを付属の USB ケーブル UC-E6 で接続することで、内蔵メモリ／ SD カードに記録した画像を、パソコンを介さずにカメラからの操作で直接プリントできます。

1 USB 通信方式を「PTP」に設定する

カメラとプリンタを接続する前にセットアップメニューの「USB」で USB 通信方式を「PTP」に設定します。

モードダイヤルを SETUP に合わせ、電源を ON にすると、セットアップメニューが表示されます。

マルチセレクターの▼を押して「USB」を選択し、▶ を押します。

▼または▲を押して、「PTP」を選択し、⏎を押します。

ダイレクトプリントを開始する前に

- ご使用のプリンタが「PictBridge」に対応しているか、あらかじめご確認ください。
- ダイレクトプリントを開始する前に、プリンタの設定を確認してください。プリンタの設定方法については、プリンタの使用説明書をご覧ください。

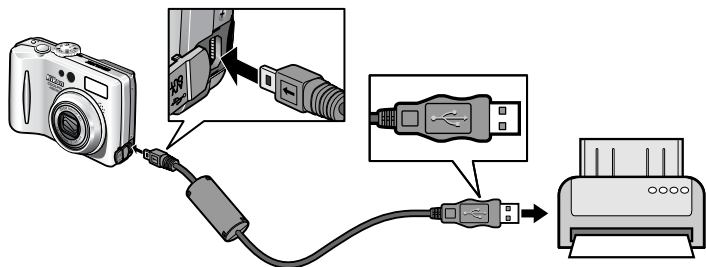
使用する電源について

カメラとプリンタを接続してダイレクトプリントする場合は、確実に電源を供給できる AC アダプタキット EH-62A（別売）をおすすめします（130)。バッテリーを使用する場合は、残量が充分なものをご使用ください。

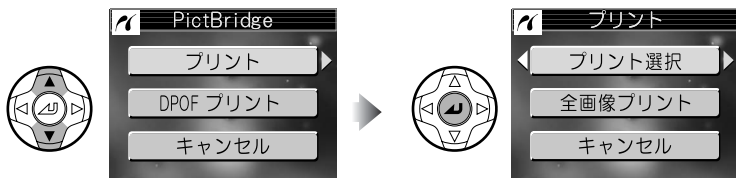
PictBridge について

PictBridge とは、デジタルカメラとプリンタメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずにプリンタで直接印刷するための標準規格です。

2 付属の USB ケーブルでプリンタに接続する

カメラの電源を OFF にして、カメラとプリンタを USB ケーブル UC-E6（カメラに付属）で下図のように接続します。

3 接続が完了したら、カメラとプリンタの電源を ON にする

カメラの液晶モニタに PictBridge 画面が表示されます。

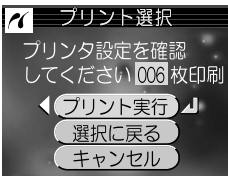
1 ▲または▼を押して「プリント」を選択し、▶を押します。

は PictBridge のロゴです

機能	内容
プリント選択	内蔵メモリまたはSDカードのプリントしたい画像を選択してプリントします。枚数を指定することができます。
全画像プリント	内蔵メモリまたは SD カードの画像をすべて 1 枚ずつプリントします。
DPOF プリント	「プリント指定」(73)で DPOF 設定されている画像を DPOF 設定に従ってダイレクトプリントします（80)。

▲または▼を押して「プリント選択」を選択し、▶を押すとプリント画像選択画面が表示されます。

- 「全画像プリント」を選択して㊀を押すと、内蔵メモリまたはSDカードのすべての画像が1枚ずつプリントされます。

◀または▶を押して、プリントしたい画像を画面下部に表示させます。
画面下部には縮小表示（画面上部）の中央の画像が大きく表示されます。

▲（+）を押して、プリント指定を設定します。
設定された画像には 1（枚数）と凸アイコンが表示されます。

必要に応じて、プリントする枚数を変更します。

- ▲（+）を押すとプリント枚数は増加し（最高9枚）、▼（−）を押すと減少します。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数が 1 のときに▼（−）を押します。
- 手順３～５を繰り返して、プリントする画像と枚数を設定します。
- プリントせずに再生メニューに戻る場合は、**MENU** ボタンを押します。

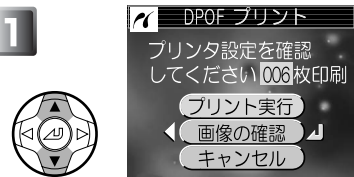
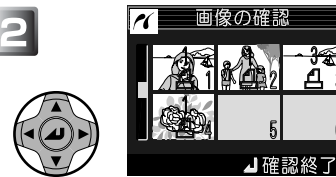
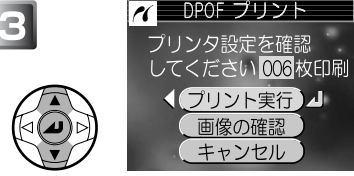
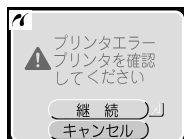
㊀を押すと選択した画像の確認画面が表示されます。▲、▼、◀または▶を押して画像を確認します。
画像の確認終了後、㊀を押すとプリントの実行画面が表示されます。

「プリント実行」が選択されていることを確認し、を押すとプリントが開始されます。

- 「選択に戻る」を選択すると、プリント枚数の指定をやり直すことができます。
- 「キャンセル」を選択すると、画像はプリントされずに、ダイレクトプリントを終了します。
- プリント中にを押すと、プリントを中止できます。

プリントが終了すると、「印刷終了　カメラ電源 OFF 可能です」という画面が表示されます。カメラの電源をOFFにして、カメラとプリンタの接続を外してください。

- 続けてプリントする場合は、を押してください。PictBridge 画面（77）に戻ります。

エラーメッセージが表示された場合

プリント中にエラーメッセージが表示された場合は、プリンタを確認してください。エラーの原因を取り除いたあと、マルチセレクターの▲または▼を押して「継続」を選択し、を押すとプリントを再開します。「キャンセル」を選択すると、その時点でプリントを中止します。

「プリント指定」で指定した画像をダイレクトプリントするには

あらかじめ「プリント指定」（📖73）で設定した画像とプリント枚数どおりに、内蔵メモリまたは SD カードの画像をダイレクトプリントします。
PictBridge 対応プリンタにカメラを接続して（📖77）「DPOF プリント」を選択すると、DPOF プリント画面が表示されます。

1

▲または▼を押して「画像の確認」を選択します。
- 「キャンセル」を選択すると、画像はプリントされずに、ダイレクトプリントを終了します。

2

Ⓞを押すと、「プリント指定」で指定した画像が縮小表示されます。▲、▼、◀または▶を押して画像を確認します。
画像の確認終了後、Ⓞを押すとプリントの実行画面に戻ります。

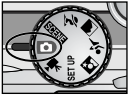
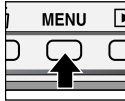
3

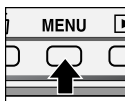
▲または▼を押して「プリント実行」を選択し、Ⓞを押すとプリントが開始されます。
- 「キャンセル」を選択すると、画像はプリントされずに、ダイレクトプリントを終了します。
- プリント中にⓄを押すと、プリントを中止できます。

4

プリントが終了すると、「印刷終了　カメラ電源 OFF 可能です」という画面が表示されます。カメラの電源を OFF にして、カメラとプリンタの接続を外してください。
- 続けてプリントする場合は、Ⓞを押してください。PictBridge 画面（📖77）に戻ります。

「DPOF プリント」でダイレクトプリントする場合のご注意

- 内蔵メモリ／ SD カードに記録した画像に「プリント指定」を設定していない場合は、「DPOF プリント」を選択できません。
- ダイレクトプリントの場合、「プリント指定」で撮影情報の印字を設定していても、撮影情報はプリントされません。

撮影メニューについて

撮影メニュー一覧

撮影メニューでは以下の項目が設定できます。

メニュー項目	内容	👁
画像モード	画質、画像サイズを設定します。	83
ホワイトバランス	照明に合わせてホワイトバランスを調整します。	86
測光方式	測光方式を「マルチ」、「中央重点」、「スポット」の中から選択します。	88
連写	撮影方法を「単写」（1 コマ撮影）、「連写」、「マルチ連写」、「サーキュラー連写」の中から選択します。	89
BSS	BSS（ベストショットセレクタ：手ブレの影響がもっとも少ない画像を選択して記録する機能）を設定します。	91
階調補正	明るい被写体、暗い被写体、コントラストの強い被写体などに対して露出を補正します。	92
輪郭強調	撮影した画像の輪郭を強調する度合いを設定します。	93
感度設定	ISO 感度を設定します。	94
ブラケティング	露出またはホワイトバランスを少しずつずらした連続撮影を行います。	95
彩度調整	画像の色の鮮やかさを調節します。	97
AF エリア選択	ピントを合わせるAFエリアの選択方法を「オート」、「マニュアル」、「中央」の中から選択します。	98
AF-MODE	AF モードを「常時 AF」または「シングル AF」の中から選択します。	101
ノイズ除去	低速のシャッタースピードで撮影したときに画像に入る星状のノイズを軽減します。	102

撮影メニューの表示方法

モードダイヤルを📷（オート撮影モード）に合わせます。

MENU ボタンを押すと、撮影メニューが表示されます。

撮影メニュー画面の操作方法

マルチセレクターの▲または▼で、設定したいメニュー項目を選択します。

- ページ(1/2、1/5　など)、△や▽マークが表示される場合は、複数ページにわたりメニューや項目があることを示します。▲または▼を押すと前後のページを表示できます。

▶ を押すと、選択したメニュー項目の詳細設定の画面が表示されます。

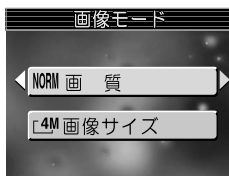
▲または▼で設定したい項目を選択します。Ⓞを押すと、選択した項目が設定されます。

- 1つ前の画面に戻るには、◀ を押します。

撮影メニューを終了して撮影画面に戻るには **MENU** ボタンを押します。

画像モード（画質・画像サイズ）

（オート撮影）モードのときに MENU ボタンを押し、「画像モード」を選択して（82）、▶を押します。

画像ファイルの大きさは撮影時の画質と画像サイズによって決定されます。目的にあった画像モードを設定すると内蔵メモリ／SD カードの容量を有効に利用できます。

画質

画像は画質の設定に応じて圧縮され、記録されます。次の 3 種類から選択して を押します。

設定	ファイル形式	内容	
FINE	**JPEG**	精細な画質で、画像を拡大する場合や、プリンタで細かく表現したい場合などに適しています。画像データは約 1/4 に圧縮されます。	低
NORMAL（初期設定）	**JPEG**	通常の記念撮影などにはこの画質モードを使用します。画像データは約 1/8 に圧縮されます。	圧縮率
BASIC	**JPEG**	電子メールに添付したりホームページに掲載したりする場合に適しています。画像データは約 1/16 に圧縮されます。	高

撮影メニュー

画質と圧縮について

画像を記録する際に、処理を施して画像のファイルサイズを小さくすることを圧縮といいます。このカメラでは、JPEG 形式で圧縮して画像を記録します。

- 圧縮率を高くすると、ファイルサイズが小さくなり、記録できる画像コマ数は増加しますが、画質が低下し、細かい部分の再現性は低下します。
- 圧縮率を低くすると、ファイルサイズが大きくなり、記録できる画像コマ数は減少しますが、画像の細部の描写が維持され、高画質になります。

画質の設定について

「画質」はアシスト機能付きシーンモード（38）やシーンモード（44）のメニューからも設定できます。

画像サイズ

用途に適した画像サイズを次の 5 種類から選択し、Ⓞを押します。

設定（画像サイズ：ピクセル）	プリント時のサイズ *
4M **2272 × 1704**（初期設定）	約 19 × 14cm
3M **2048 × 1536**	約 17 × 13cm
2M **1600 × 1200**	約 14 × 10cm
PC **1024 × 768**	約　9 ×　7cm
TV **640 × 480**	約　5 ×　4cm

* 画像解像度を 300dpi に設定した場合のサイズです。ピクセル数÷プリンタ解像度（dpi）× 2.54cm で計算しています。

撮影メニュー

画像サイズについて

- 画像サイズを大きくすると、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる画像コマ数が減少しますが、大きくプリントするのに適しています。
- 画像サイズを小さくすると、ファイルサイズが小さくなるため、電子メールで送る場合やホームページで使用するのに適しています。ただし、サイズが小さい画像を大きくプリントしようとすると、粒子の粗い画像になります。また、同じ画像サイズでも、プリント時の解像度が高いほどプリントサイズが小さくなります。

画像サイズの設定について

「画像サイズ」はアシスト機能付きシーンモード（38）やシーンモード（44）のメニューからも設定できます。

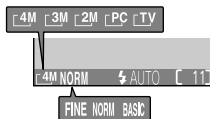
画像モードと撮影可能コマ数について

内蔵メモリ／ SD カードに記録できるコマ数は、画質や画像サイズによって異なります。内蔵メモリと、256MB、512MB の SD カードに記録できるコマ数のおおよその目安は次のとおりです。
撮影可能コマ数は、SD カードの種類や JPEG 圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。

画像モード		内蔵メモリ	SD カード	
画像サイズ	画質	約 12MB	256MB	512MB
4M 2272 × 1704	FINE	約 5 コマ	約 116 コマ	約 234 コマ
	NORMAL	約 11 コマ	約 225 コマ	約 455 コマ
	BASIC	約 21 コマ	約 427 コマ	約 860 コマ
3M 2048 × 1536	FINE	約 7 コマ	約 142 コマ	約 286 コマ
	NORMAL	約 13 コマ	約 274 コマ	約 553 コマ
	BASIC	約 25 コマ	約 512 コマ	約 1033 コマ
2M 1600 × 1200	FINE	約 11 コマ	約 227 コマ	約 458 コマ
	NORMAL	約 21 コマ	約 429 コマ	約 867 コマ
	BASIC	約 38 コマ	約 774 コマ	約 1561 コマ
PC 1024 × 768	FINE	約 25 コマ	約 512 コマ	約 1033 コマ
	NORMAL	約 45 コマ	約 905 コマ	約 1826 コマ
	BASIC	約 73 コマ	約 1469 コマ	約 2963 コマ
TV 640 × 480	FINE	約 54 コマ	約 1088 コマ	約 2194 コマ
	NORMAL	約 85 コマ	約 1701 コマ	約 3431 コマ
	BASIC	約 118 コマ	約 2368 コマ	約 4775 コマ

記録コマ数が 1000 コマ以上の場合、液晶モニタには「999」と表示されます。

画像モード表示

「画像モード」を設定すると、設定した「画質」と「画像サイズ」のアイコンが液晶モニタに表示されます。

ホワイトバランス

[撮影]（オート撮影）モードのときにMENUボタンを押し、「ホワイトバランス」を選択して（82）、▶を押します。

ホワイトバランスについて

人間の目は、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。それに対してデジタルカメラでは、光源の色に合わせて白色の調整を行う必要があります。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

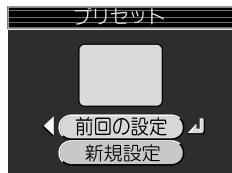
- 「オート（A-WB）」で意図どおりのホワイトバランスにならない場合や、特定の照明光や撮影条件に固定したい場合には、「オート（A-WB）」以外のホワイトバランスに設定してください。

次の 9 種類から選択して⊕を押します。

設定		内容
A-WB オート （初期設定）		照明の状態に合わせて、カメラがホワイトバランスを自動的に調整します。ほとんどの場面で使用できます。
PRE プリセット		撮影者が白の被写体を基準にホワイトバランスを調整することができます（87）。
太陽光		太陽光での撮影に適しています。
電球		白熱電球を灯している室内での撮影に適しています。
蛍光灯	**FL1**	蛍光灯を灯している室内での撮影に適しています。▶を押し、蛍光灯の種類に合わせて「FL1」（白色蛍光灯（W））または「FL2」（昼白色蛍光灯（N））を選び、⊕を押します。
	FL2	
曇天		曇り空の下での撮影に適しています。
晴天日陰		晴れの日の日陰での撮影に適しています。
スピードライト		スピードライトを発光させて撮影する場合に適しています。

PRE プリセットホワイトバランス

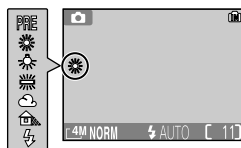
ホワイトバランス測定窓

プリセットホワイトバランスは、強い色合いの照明下でホワイトバランスを調整する場合に使用します（赤味がかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など）。
ホワイトバランスメニューから「プリセット（PRE）」を選択すると、レンズが望遠側にズーミングして、液晶モニタにプリセットホワイトバランス設定画面が表示されます。

設定	内容
前回の設定	前回プリセットされたホワイトバランスに設定します。
新規設定	新規にホワイトバランス値を測定します。撮影時に使用する照明下で、紙などの白い被写体をホワイトバランス測定窓に映します。マルチセレクターの▼を押して「新規設定」を選択し、⊕を押すと新規にプリセットホワイトバランス値を測定します。プリセット中はシャッター音がして、ズームレンズが作動しますが、画像は記録されません。

プリセットホワイトバランスについてのご注意

- スピードライト発光時のホワイトバランス値は測定できません。「新規設定」では、スピードライトモードの設定にかかわらずスピードライトは発光しません。
- 「ブラケティング」が「WB-BKT（WB）」に設定されていると、プリセットホワイトバランスを設定することができません。

ホワイトバランス表示

「ホワイトバランス」を「オート（A-WB）」以外に設定すると、設定したホワイトバランスアイコンが液晶モニタに表示されます。

測光方式

[カメラアイコン]（オート撮影）モードのときにMENUボタンを押し､｢測光方式｣を選択して（ 82）､▶ を押します。

露出を合わせるためにカメラが被写体の明るさを計測することを測光といいます。

次の 3 種類から選択して を押します。

設定	内容
マルチ（初期設定）	さまざまな撮影状況で適正な露出が得られるマルチ測光になります。通常の撮影では、マルチ測光をおすすめします。
中央重点	画面に表示されている中央重点測光範囲で測光します。ポートレート撮影など重点的に画面中央部に露出を合わせたいときなどに使用します。露出を合わせたい部分が画面中央部にないときは、AF（AE）ロック（ 33）を使用してください。
スポット	画面中央部に表示されているスポット測光範囲で測光します。被写体と背景の明るさが著しく異なるときなどに使用します。被写体がスポット測光範囲に入るようにして撮影してください。露出を合わせたい部分が画面中央部にないときは、AF（AE）ロック（ 33）を使用してください。

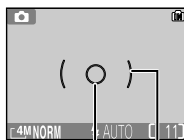
撮影メニュー

測光方式についてのご注意

電子ズーム作動中は自動的に「中央重点（ ）」相当になります。ただし、測光範囲は表示されません。

測光方式表示について

｢測光方式｣を｢中央重点（ ）｣または｢スポット（ ）｣に設定すると､設定した測光範囲が液晶モニタに表示されます。

連写

[カメラアイコン]（オート撮影）モードのときに MENU ボタンを押し、「連写」を選択して（82）、▶ を押します。

撮影状況に合わせて、「単写（1 コマ撮影）」または 3 種類の連続撮影から選択して ⊕ を押します。

設定	内容
S **単写**（初期設定）	シャッターボタンを深く押し込むと、1 コマの画像を撮影します。そのままシャッターボタンを押し続けても、連続撮影はできません。
連写	シャッターボタンを深く押し続けると、最高約 1.3 コマ / 秒で連続撮影できます。 • 「画質」が「NORMAL」、「画像サイズ」が「4M （2272 × 1704）」の場合、連続で約 11 コマ撮影できます。 • バッテリーチェック表示（▭）が液晶モニタに表示された場合、連続撮影速度は遅くなります。
サーキュラー連写	シャッターボタンを深く押し続けると、最高約 1.3 コマ／秒で連続撮影を行い、シャッターボタンから指を離すと連続撮影を終了します。連続撮影された複数の画像のうち、最後に撮影された 1 コマからさかのぼった連続 5 コマのみを記録します。 • バッテリーチェック表示（▭）が液晶モニタに表示された場合、連続撮影速度は遅くなります。
マルチ連写	シャッターボタンを深く押し込むと、約 3.5 コマ／秒で 16 コマの連続撮影を行います。 • 画像が 4 × 4 コマ（1 コマ:568 × 426 ピクセル）に並べられ、1 つの画像「4M （2272 × 1704）」として記録されます。

「連写」、「サーキュラー連写」または「マルチ連写」に設定した場合のご注意

- オートフォーカス、露出、ホワイトバランスは 1 コマ目の条件に固定されます。
- スピードライトは自動的に「発光禁止（）」になります。また、「BSS」（ 91）や「ブラケティング」（ 95）と同時に使用することはできません。最後に設定した機能で撮影されます。
- 「ノイズ除去」（ 102）は働きません。
- セルフタイマーで撮影すると「単写（S）」に切り換わり、「連写（）」、「サーキュラー連写（）」または「マルチ連写（）」ができません。セルフタイマーでの撮影を終えると、元の設定に戻ります。
- 「マルチ連写（）」での撮影中は、「感度設定」（ 94）が「オート」になります。

連写モード表示

「連写」を「連写（）」、「サーキュラー連写（）」または「マルチ連写（）」に設定すると、連写モードアイコンが液晶モニタに表示されます。

撮影メニュー

BSS

(オート撮影)モードのときにMENUボタンを押し、「BSS」を選択して(82)、▶を押します。

BSSとは「ベストショットセレクタ」(**B**est **S**hot **S**elector)のことで、シャッターボタンを深く押し続けると、最大10コマまでの画像を連続撮影し、撮影された画像のうちカメラが自動的により鮮明な画像を1コマ選んで記録する機能です。次のような手ブレをしやすい撮影のときに効果的です。

- 望遠側で撮影する場合
- マクロ撮影の場合
- 照明が暗くてもスピードライトを使用しない場合

「OFF」または「ON」を選択して を押します。

設定	内容
BSS OFF (初期設定)	BSSを設定しません。
BSS ON	BSSを設定します。スピードライトは自動的に「発光禁止( )」に設定され、オートフォーカス、露出、ホワイトバランスは1コマ目の条件に固定されます。

BSSについてのご注意

- 「BSS」を「ON」に設定しても、動いている被写体を撮影したり、連続撮影中に構図を変えると、適切な結果が得られない場合があります。
- 「BSS」を「ON」に設定しているときに、セルフタイマー(53)を使用すると「BSS」は「OFF」になります。セルフタイマーの撮影を終えると、再び「ON」に戻ります。
- 「BSS」を「ON」に設定すると、「ノイズ除去」(102)は「自動 ON」に設定されていても働きません。

「BSS」と「連写」や「ブラケティング」の設定について

これらの機能は同時に使用することはできません。最後に設定した機能で撮影されます。

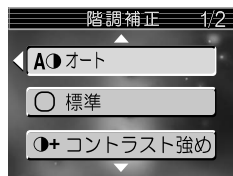
BSS表示について

「BSS」を「ON」に設定すると、BSSアイコンが液晶モニタに表示されます。

階調補正

(オート撮影)モードのときにMENUボタンを押し、「階調補正」を選択して(82)、▶を押します。

記録する画像のコントラストを設定します。

次の4種類から選択して を押します。

設定	内容
A◑ オート (初期設定)	カメラが撮影シーンに応じて最適なコントラストを自動的に設定します。
▢ **標準**	標準的な階調に設定します。暗いシーンから明るいシーンまで、さまざまな撮影状況を再現します。
◑+ コントラスト強め	明暗差を強調してコントラストをつけます。曇り空の下で撮影した風景の画像や、コントラストが低い被写体の画像に効果的です。
◑- コントラスト弱め	明暗差を抑えてコントラストを低くします。強い光で被写体にくっきりとした影が出てしまう場合などに効果的です。

階調補正表示について

「階調補正」を「オート(A◑)」以外に設定すると、階調補正アイコンが液晶モニタに表示されます。

輪郭強調

（オート撮影）モードのときにMENUボタンを押し、「輪郭強調」を選択して（82）、▶を押します。

撮影シーンや好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整します。

次の 5 種類から選択して を押します。

設定	内容
A◇ オート（初期設定）	撮影した画像が最適な輪郭になるように、カメラが自動的に調整します（調整の度合いは画像によって異なります）。
◇ 強	輪郭を強めに強調します。個々の被写体の境目がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合などに使用します。
◇ 標準	標準的なレベルで輪郭強調を行います。
◯ 弱	輪郭の強調を弱めに行います。個々の被写体の境目がソフトな感じの画像になります。
OFF	輪郭強調しません。画像をパソコンで加工する場合などに適しています。

輪郭強調について

輪郭強調の効果は、撮影時の液晶モニタでは確認できません。画像を再生して確認してください。

輪郭強調表示について

「輪郭強調」を「オート（A◇）」以外に設定すると、輪郭強調アイコンが液晶モニタに表示されます。

感度設定

（オート撮影）モードのときにMENUボタンを押し、「感度設定」を選択して（ 82）、▶を押します。

カメラが光に対して反応する撮像感度を設定します。「オート」（初期設定）では、低輝度のときに自動的に ISO 感度が上がります。暗いところでスピードライトを発光禁止にしたときの手ブレを防いだり、被写体を明るく撮影する場合にはISO感度を高く設定すると効果がありますが、撮影された画像にはノイズが出て、粒子が粗くなることがあります。
次の 5 種類から選択して を押します。

設定	内容
オート（初期設定）	通常は ISO80 相当に設定されますが、低輝度時には自動的に感度が上がります（ISO200 相当まで）。
80	ISO80 相当
100	ISO100 相当
200	ISO200 相当
400	ISO400 相当

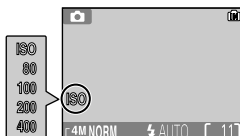
撮影メニュー

ISO 感度を上げたときに生じる星状ノイズについて

「感度設定」を上げたときには撮影画面上に星状ノイズが生じることがあります。このような場合には、「ノイズ除去」を「自動 ON」に設定すると、ノイズが発生するような遅いシャッタースピードになったときに星状ノイズを自動的に軽減します（ 102）。

感度表示について

「感度設定」を「オート」以外に設定すると、設定した ISO 値が液晶モニタに表示されます。また、「オート」に設定しているときに、カメラが自動的に感度変更を行った場合は **ISO** アイコンが表示されます。

ブラケティング

（オート撮影）モードのときにMENUボタンを押し､｢ブラケティング｣を選択して(82)､▶を押します。

露出またはホワイトバランスを少しずつずらした連続撮影をカメラが自動的に行います。露出補正やホワイトバランスの調整を行うのが難しいときや、調整する時間がないときに使用すると便利です。
次の 3 種類から選択して を押します。

設定	内容
BKT OFF （初期設定）	ブラケティングを行いません。
BKT ON	標準、+0.5、−0.5の順で自動的に露出をずらしながら、3コマの画像を撮影します。シャッターボタンを深く押し込むと、3コマを連続して撮影します。
WB WB-BKT （ホワイトバランスブラケティング）	シャッターボタンを深く押し込むと､そのとき設定されているホワイトバランスの画像と、青味がかった画像、赤味がかった画像の 3 コマを記録します。 シャッターを切るたびに 3 コマずつ記録されますので、書き込み時間は通常の約 3 倍かかります。

「ブラケティング」の「ON（BKT）」について

- スピードライトモードが「発光禁止（ ）」になります。
- 「ノイズ除去」(102) は「自動 ON」に設定していても働きません。

ブラケティングを設定したときの制限

- 「ブラケティング」を設定して撮影すると、次の機能は働きません。
  「連写（ ）」、「サーキュラー連写（ ）」、「マルチ連写（ ）」や「BSS」と同時に使用することはできません。最後に設定した機能で撮影されます。
- 「ホワイトバランス」(86) を「プリセット（PRE）」に設定しているときは、「ブラケティング」の「WB-BKT（WB）」で撮影することはできません。
- 内蔵メモリまたは SD カードのメモリ残量が 1 枚または 2 枚分の場合、記録可能な枚数しか保存されません。

露出補正を設定したときは

露出補正（56）とブラケティングを同時に設定した場合は、補正量が加算されます。

ブラケティング表示について

「ブラケティング」を「ON」に設定すると、BKT（ブラケティング）アイコンが液晶モニタに表示されます。「ブラケティング」を「WB-BKT」に設定すると、WB-BKT（ホワイトバランスブラケティング）アイコンが液晶モニタに表示されます。

彩度調整

（オート撮影）モードのときにMENUボタンを押し、「彩度調整」を選択して（82）、▶を押します。

記録する画像の色の鮮やかさを変更できます。

次の 3 種類から選択して を押します。

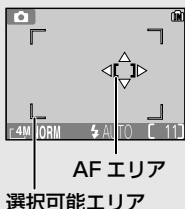
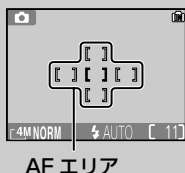
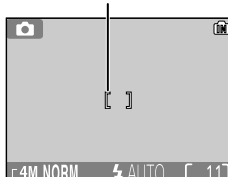
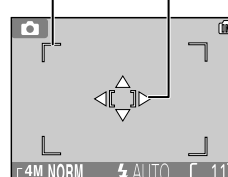
設定	内容
彩度＋ 1	彩度を鮮やかにします。画像をプリンタで直接出力する場合に適しています。
標準（初期設定）	標準的な彩度に調整します。通常の撮影ではこの設定をおすすめします。
彩度－ 1	彩度を抑えます。画像をパソコンで加工する場合などに適しています。

AF（オートフォーカス）エリア選択

[カメラアイコン]（オート撮影）モードのときにMENUボタンを押し、「AFエリア選択」を選択して（82）、▶を押します。

ピントを合わせるときの、AF エリアの選択方法を設定します。

次の 3 種類から選択して⊛を押します。

設定	内容
オート （初期設定）	5 つの AF エリアのうち、最もカメラに近い被写体がある AF エリアをカメラが自動的に選択してピントを合わせます。シャッターボタンを半押しすると、カメラが選択した AF エリアが液晶モニタに表示されます。動きのある被写体の撮影やピント合わせに時間がかけられない場合などに使用します。 AF エリア
マニュアル	選択可能エリア内の 99ヶ所の AF エリアから、撮影者が選択してピントを合わせます。AF エリアは、マルチセレクターの◀、▶、▲または▼を押して選択（移動）します。比較的動きの少ない被写体が画面中央にない場合や、AF（AE）ロック（33）を使用しないでピントを合わせたい場合に適しています。詳しい操作方法については「「AF エリア選択」を「マニュアル（[::]）」に設定した場合」（100）をご覧ください。 AF エリア 選択可能エリア
中央	中央の AF エリアのみを使用してピントを合わせます。AF(AE)ロック（33）を使用してピントを合わせたい場合に便利です。 AF エリア

AF エリアの表示について

- ピントが合うと、選択された AF エリアが緑色で表示されます。
- ピントが合わない場合は AF エリアが赤く点滅します。
- 「オート（[■]）」に設定している場合は、シャッターを半押しするまで AF エリアは表示されません。

AF エリア選択についてのご注意

- アシスト機能付きシーンモード（38）またはシーンモード（44）では、各モードに適した「AF エリア選択」のモードをカメラが自動的に設定します。
- 動画モードのときは、中央の AF エリアを使用してピントを合わせます。「AF エリア選択」を設定することはできません。
- 「モニタ設定」（121）を「モニタ OFF」に設定したり、電子ズーム（29）が作動している間は AF エリアの選択はできません。中央の AF エリアが使用されます。

「AF エリア選択」を「マニュアル（[▪]）」に設定した場合

選択可能エリアから任意の AF エリアを選択することができます。

撮影メニューの「AFエリア選択」で「マニュアル」を選択すると、撮影画面に現在選択されている AF エリアが表示されます。

ⓔを押して、AF エリア選択ガイドと選択可能エリアを表示します。

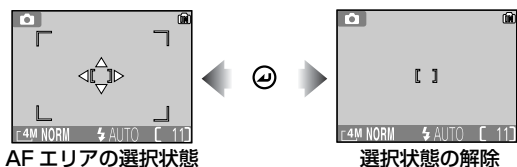
マルチセレクターの◀、▶、▲または▼を押して、ピントを合わせたい被写体に重なるように AF エリアを移動させます。

- 移動できる方向のAFエリア選択ガイドが表示されます。

シャッターボタンを半押しすると、AF エリアの被写体にピントが合います。AF エリアが緑色で表示されます。
半押ししたまま、ゆっくりとシャッターボタンを深く押し込み、撮影します。

「マニュアル（[▪]）」で撮影するときのご注意

AF エリアが選択状態の場合は、スピードライトモード（51）、露出補正（56）、マクロモード（55）、セルフタイマーモード（53）は設定できません。ⓔを押して AF エリアの選択状態を解除してから各モードの設定を行ってください。各モードを設定したあと、AF エリアを変更したいときは再度ⓔを押してください。

AF エリアの選択状態　　選択状態の解除

AF-MODE（オートフォーカスモード）

（オート撮影）モードのときに MENU ボタンを押し、「AF-MODE」を選択して（82）、▶を押します。

液晶モニタが点灯しているときの AF モードを常時 AF またはシングル AF に切り換えることができます。（液晶モニタが消灯しているときは、設定にかかわらずシングル AF になります。）動画撮影時の AF モードも設定が切り換わります。
次の 2 種類から選択してを押します。

設定	内容
C-AF 常時 AF	シャッターボタンの操作にかかわらず、常にピント合わせを繰り返します。動きのある被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しするとピントを固定（AF（AE）ロック）します。被写体にピントが合っていなくてもシャッターがきれるので、シャッターボタン半押し時に AF ランプ、AF エリアまたは AF 表示の点灯をご確認ください。
S-AF シングル AF（初期設定）	シャッターボタンを半押ししている間のみAFによるピント合わせを行い、ピントが合うと AF（AE）ロックを行います。被写体にピントが合っていなくてもシャッターがきれるので、AF ランプ、AF エリアまたは AF 表示の点灯を確認してから撮影を行ってください。

動画撮影中の AF モードについて

動画モードでの撮影中は、AF モードは次のように動作します。

- 「常時 AF（C-AF）」　：動画撮影中も常にピント合わせを繰り返します。撮影中はカメラの動作音が録音される場合があります。動作音が気になる場合は「シングル AF（S-AF）」に設定して撮影することをおすすめします。
- 「シングル AF（S-AF）」：シャッターボタンを押したときのピントに固定したまま、動画撮影を行います。

撮影メニュー

ノイズ除去

（オート撮影）モードのときにMENUボタンを押し、「ノイズ除去」を選択して（82）、▶を押します。

シャッタースピードが低速になると、画像に星状のノイズが入る場合があります。暗いところなどで撮影する場合、「ノイズ除去」を「自動 ON」に設定すると、このノイズを軽減させることができます。
「自動 ON」または「OFF」を選択して を押します。

設定	内容
NR **自動 ON**	ノイズが発生するような遅いシャッタースピードになると、ノイズ除去が機能します。撮影開始から内蔵メモリ／SDカードへの画像の記録時間が通常より長くなります。
OFF （初期設定）	ノイズ除去は機能しません。

撮影メニュー

ノイズ除去を設定したときの制限

次の場合、「ノイズ除去」を「自動 ON」に設定しても「ノイズ除去」は機能しません。

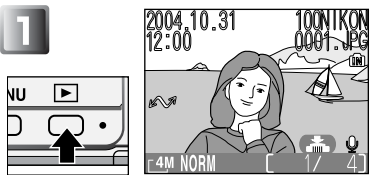
- 「BSS」が「ON」のとき（91）
- 「ブラケティング」が「ON」または「WB-BKT（WB）」のとき（95）
- 「連写」が「連写（）」、「サーキュラー連写（）」、「マルチ連写（）」のとき（89）

ISO 感度を上げたときに生じる星状ノイズについて

「感度設定」（94）を上げたときにも、撮影画面上に星状ノイズが生じることがあります。このような場合には、「ノイズ除去」を「自動 ON」に設定すると、ノイズが発生するような遅いシャッタースピードになったときに星状ノイズを自動的に軽減します。

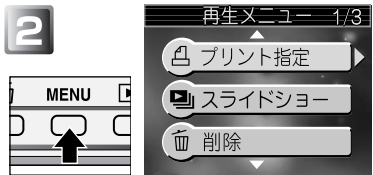
ノイズ除去表示について

「ノイズ除去」を「自動 ON」に設定すると、NR（ノイズ除去）アイコンが液晶モニタに表示されます。

再生メニューについて

再生メニュー一覧

再生メニューでは以下の項目が設定できます。

メニュー項目	内容	👁
プリント指定	DPOF対応プリンタでプリントする画像を選択し、プリント枚数やプリント時に書き込む撮影情報、日付を設定します。	73
スライドショー	記録されている画像を撮影した順番で自動的に再生するスライドショーを行います。	104
削除	選択した画像、またはすべての画像を削除します。	106
プロテクト設定	不用意に画像を削除しないように、画像にプロテクト（保護）をかけます。	108
転送マーク設定	選択した画像、またはすべての画像をパソコンに転送できるように設定します。	109
スモール ピクチャー	撮影した画像から小さいサイズの画像を作成します。	111
画像コピー	内蔵メモリの画像を SD カードに、または SD カードの画像を内蔵メモリにコピーします。	112

再生メニューの表示方法

▶ ボタンを押します。

- 液晶モニタに再生画面が表示されます。

MENU ボタンを押します。

- 再生メニューが表示されます。
- マルチセレクターの▲または▼を押し、設定したいメニュー項目を選択して、▶を押します。

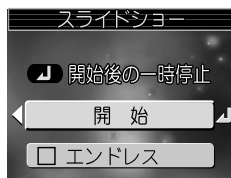
再生メニュー画面を終了するには

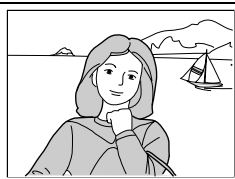
再生メニュー画面を終了して再生画面に戻るには、**MENU** ボタンを押します。

スライドショー

再生モードのときに MENU ボタンを押し､｢スライドショー｣を選択して(103)､▶を押します。

(103)

画像を約 3 秒間隔で順番に再生する、スライドショーを行います。

マルチセレクターの▲または▼を押して、「開始」を選択します。

↵を押すと、スライドショーが開始されます。

スライドショーの再生中は次の操作が可能です。

機能	ボタン	内容
一時停止	↵	スライドショーが一時停止し､画面上にメニューが表示されます｡スライドショーを再開するには｢再開｣を選択して↵を押します｡スライドショーを終了するには｢終了｣を選択して↵を押します｡再開するときは､表示しているコマから再開します｡一時停止中のコマ送り､コマ戻しはできません｡ (一時停止／終　了／再　開)
コマ送り	▶	▶を押すとコマ送りします。押し続けると早送りします。
コマ戻し	◀	◀を押すとコマ戻しします。押し続けると巻き戻します。
終了	**MENU**	スライドショーを終了して再生モードに戻ります。

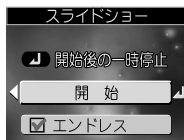
内蔵メモリの画像について

内蔵メモリと SD カードの画像を同時に再生することはできません。内蔵メモリに記録された画像は、次のどちらかの方法で再生してください。

- SD カードを取り出して（21）から再生する。
- 内蔵メモリの画像を SD カードにコピーして再生する（112）。

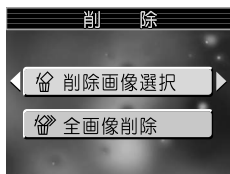
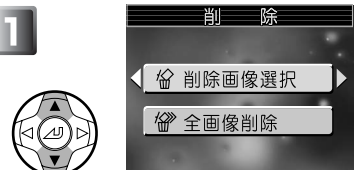
スライドショーを自動的に繰り返し再生するには

スライドショー開始画面（手順 1）で▲または▼を押して「エンドレス」を選択し、を押します。「エンドレス」の前の□に✔が入ります。

- 解除するにはもう一度を押して✔を外します。
- 「開始」を選択してを押すとスライドショーを開始します。

スライドショーについてのご注意

- 「エンドレス」設定にしても、スライドショーを開始してカメラの操作をせずに 30 分経過すると、オートパワーオフ機能により、自動的にカメラの電源が OFF になります。
- 動画（60）は 1 フレームのみ表示されます。

🗑 削除

再生モードのときに MENU ボタンを押し､｢削除｣を選択して(103)､▶を押します。

選択した画像またはすべての画像を内蔵メモリ／SD カードから削除できます。
- SD カードをカメラにセットしていない場合は、内蔵メモリ内の画像が削除されます。
- SD カードをカメラにセットすると、SD カードの画像が削除されます。

設定	内容
削除画像選択	選択した画像を削除します。
全画像削除	内蔵メモリまたは SD カードに記録されているすべての画像を削除します。

選択した画像を削除する（削除画像選択）

1

マルチセレクターの▲または▼を押して、「削除画像選択」を選択します。

2

▶ を押すと、削除画像選択画面に切り換わります。◀または▶を押して、削除したい画像を選択します。
- 画面下部には縮小表示（画面上部）の中央の画像が表示されます。
- 削除をキャンセルする場合は、**MENU** ボタンを押します。

音声メモについてのご注意

画像に記録した音声メモも削除されます。画像に記録した音声メモのみを削除する場合は、1 コマ再生モード、サムネイル再生モードまたは拡大表示モードで画像を表示しているときに🗑（削除）ボタンを押してください（ 65)。

▲（ON）を押すと、選択した画像が削除する画像に設定されます。設定された画像には🗑アイコンが表示されます。

- 手順 2、3 を繰り返して、削除する画像を選択します。
- 削除の設定を解除するときは、🗑が表示された画像を選択し、▼（OFF）を押して🗑アイコンを消してください。

Ⓔを押すと、削除確認画面が表示されます。▼を押して「はい」を選択し、Ⓔを押すと削除されます。

- 「いいえ」を選択し、Ⓔを押すと画像は削除されずに再生メニューに戻ります。

すべての画像を削除する（全画像削除）

内蔵メモリまたは SD カードどちらかの画像をすべて削除します。

マルチセレクターの▲または▼を押して、「全画像削除」を選択します。

▶を押すと、削除確認画面が表示されます。▼を押して「はい」を選択し、Ⓔを押すと削除されます。

- 「いいえ」を選択し、Ⓔを押すと画像は削除されずに再生メニューに戻ります。

再生メニュー

画像削除についてのご注意

- 削除した画像は元に戻すことはできませんのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- O‒┓アイコンが表示されている画像は、プロテクト（保護）設定されているので削除されません（108）。

プロテクト設定

再生モードのときに MENU ボタンを押し、「プロテクト設定」を選択して（103）、▶を押します。

内蔵メモリ／ SD カードに記録されている画像を誤って削除しないようにプロテクト（保護）設定できます。

1

マルチセレクターの◀または▶を押して、プロテクト設定したい画像を選択します。
- 画面下部には縮小表示（画面上部）の中央の画像が表示されます。
- プロテクト設定をキャンセルする場合は、**MENU** ボタンを押します。

2

▲（ON）を押すと、選択した画像をプロテクト設定します。プロテクト設定した画像には O━π アイコンが表示されます。
- 手順 1、2 を繰り返して、プロテクト設定する画像を選択します。
- プロテクト設定を解除する場合は、解除したい画像を選択して▼（OFF）を押し、O━π アイコンを消してください。

3

⏎を押すと、選択した画像がプロテクト設定されます。

プロテクト設定についてのご注意

プロテクト設定された画像は削除できなくなります。ただし、内蔵メモリ／ SD カードを初期化すると、プロテクト設定された画像を含むすべての画像が消去されますのでご注意ください（126）。

プロテクト表示

プロテクト設定した画像には再生時にプロテクトアイコンが表示されます。

転送マーク設定

再生モードのときに MENU ボタンを押し､｢転送マーク設定｣を選択して(103)､▶ を押します。

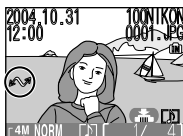
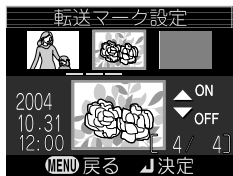
撮影した全画像をパソコンに転送するか、または全画像を転送しないようにするかを設定できます。また、転送する画像を選択できます。
次の 3 種類から選択して を押します。

設定	内容
全 ON （初期設定）	撮影した全画像を転送設定します。設定後に撮影する画像はすべて ON になります。
全 OFF	撮影した全画像の転送設定を解除します。設定後に撮影する画像はすべて OFF になります。
複数画像選択	画像ごとに転送設定を設定または解除します。

転送マーク設定についてのご注意

- 転送設定できる画像は 999 コマまでです｡999 コマを超える画像を転送する場合は､付属のソフトウェアを使用してすべての画像を一括で転送してください｡詳しくは付属のソフトウェアのリファレンスマニュアル(CD-ROM)をご覧ください｡
- COOLPIX4200 以外のニコン製デジタルカメラで転送設定した SD カードを挿入しても転送設定は認識されません。COOLPIX4200 で再度転送設定してください。

転送設定

- COOLPIX4200 の初期設定では、撮影された画像すべてに （転送）マークが自動的に表示されます。

1 コマ再生モード

サムネイル再生モード

- 付属のソフトウェアがインストールされたパソコンとカメラを付属の USB ケーブル UC-E6で接続して､ (転送)ボタンで画像を転送すると､ (転送)マークの付いた画像がパソコンに転送されます｡

再生メニュー

■□□□□■ 転送する画像を選択する（複数画像選択）

1

マルチセレクターの▲または▼を押して、「複数画像選択」を選択します。

2

▶ を押すと、複数画像選択画面に切り換わります。

3

◀ または ▶ を押して、転送したい画像を選択します。

- 画面下部には縮小表示（画面上部）の中央の画像が表示されます。
- 転送画像選択をキャンセルする場合は、**MENU** ボタンを押します。

4

▲（ON）を押すと、選択した画像が転送する画像に設定されます。設定された画像には（転送）マークが表示されます。

- 手順 3、4 を繰り返して、転送する画像を選択します。
- 設定を解除する場合は、解除したい画像を選択して▼（OFF）を押し、（転送）マークを消してください。

5

を押すと、選択した画像が転送設定されます。

スモールピクチャー

再生モードのときにMENUボタンを押し、「スモールピクチャー」を選択して(103)、▶を押します。

撮影した画像から小さいサイズの画像を作成できます。スモールピクチャーでは、次の画像サイズが選択できます。

サイズ(ピクセル)	内容
640 × 480	テレビでの表示に適しています。
320 × 240	ホームページでの使用に適しています。読み込みに要する時間が短く済みます。
160 × 120	電子メールに添付した場合に、送信･受信に要する時間が短く済みます。

1

スモールピクチャーを作成したい画像を1コマ再生モード(61)で表示中に、「再生メニュー」を表示させます。

▲または▼を押して、スモールピクチャーで作成する画像のサイズを選択し、Ⓔを押すと確認画面が表示されます。

2

▼を押して「はい」を選択し、Ⓔを押すとスモールピクチャーが作成されます。

- 「いいえ」を選択して、Ⓔを押すと、スモールピクチャーは作成されません。

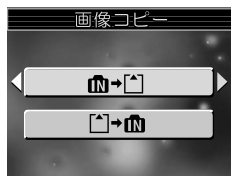
- 作成されたスモールピクチャーは、BASIC(JPEGで約1/16に圧縮)で保存されます。
- ファイル名は、先頭文字「SSCN」に新規のファイル番号(画像記録フォルダ内にある最大の番号に1を加えた番号)を付けた名前(拡張子は.JPG)となります。
  例:SSCN0015.JPG
- サムネイル表示にすると、スモールピクチャーはグレーの枠で囲まれて表示されます(640 × 480を除く)。

スモールピクチャーを作成する場合のご注意

- スモールピクチャーまたはトリミング(64)で作成された画像からスモールピクチャーを作成することはできません。
- スモールピクチャーで320 × 240以下に作成した画像の拡大表示はできません。
- COOLPIX4200 以外で撮影された画像に対しては、スモールピクチャー機能の動作は保証しておりません。

画像コピー

再生モードのときに MENU ボタンを押し､｢画像コピー｣を選択して(103)､▶ を押します。

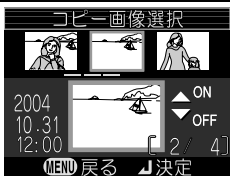
内蔵メモリの画像を SD カードへ、または SD カードの画像を内蔵メモリへコピーできます。

設定	内容
IN→□	内蔵メモリに記録されている画像を SD カードへコピーします。コピーしたい画像を選択してコピーしたり、内蔵メモリのすべての画像をコピーすることができます。
□→IN	SD カードに記録されている画像を内蔵メモリへコピーします。コピーしたい画像を選択してコピーしたり､SD カードのすべての画像をコピーすることができます。

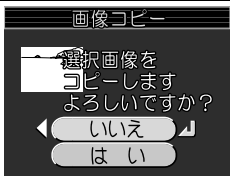
選択した画像をコピーする（選択画像コピー）

1

マルチセレクターの▲または▼を押して、画像のコピー方向（上表参照）を選択し､▶ を押します。

2

「選択画像コピー」が選択されていることを確認し､▶ を押すとコピー画像選択画面が表示されます。

◀ または ▶ を押して、コピーしたい画像を選択します。
- 画面下部には縮小表示（画面上部）の中央の画像が表示されます。
- コピー画像選択をキャンセルする場合は、**MENU** ボタンを押します。

▲（ON）を押すと、選択した画像がコピーされる画像に設定されます。設定された画像には アイコンが表示されます。
- 手順 3、4 を繰り返して、コピーする画像を選択します。
- コピーの設定を解除するときは、解除したい画像を選択して▼（OFF）を押し、 アイコンを消してください。

を押すと、コピー確認画面が表示されます。

▼を押して「はい」を選択し、 を押すと選択した画面がコピーされます。
- 「いいえ」を選択すると、画像はコピーされずに再生メニューに戻ります。

すべての画像をコピーする

1

マルチセレクターの▲または▼を押して、画像のコピー方向（112）を選択し、▶を押します。

2

マルチセレクターの▼を押して、「全画像コピー」を選択します。

3

▶を押すと、コピー確認画面が表示されます。

4

▼を押して「はい」を選択し、Ⓞを押すと内蔵メモリまたは SD カードに記録されているすべての画像がコピーされます。
- 「いいえ」を選択すると、画像はコピーされずに再生メニューに戻ります。

画像コピーについてのご注意

- 選択画像コピーのときは、コピー先にすでに作成されているフォルダ内に選択した画像がコピーされます。ファイル名は、「DSCN」などの先頭文字に新規のファイル番号を付けた名前となります。
- 全画像コピーのときは、内蔵メモリ／ SD カードの全フォルダごとコピーされます。フォルダ名は、新規のフォルダ番号（コピー先にある最大の番号に 1 を加えた番号）を付けた名前となります。コピー先に新しいフォルダを作成できないときは、コピーは実行されず、エラーメッセージが表示されます。
- 画像コピー中にコピー先の空き容量が不足したときは、画像コピーが中止され、エラーメッセージが表示されます。コピー先に収まり切らなかった画像はコピーされません。
- コピーできる画像ファイルの形式は、JPEG、MOV、WAV です。これ以外の形式の画像ファイルはコピーできません。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像の画像コピーは、動作保証外です。

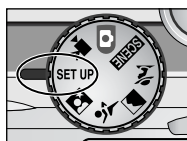
画像のプリント指定（DPOF プリント設定）について

「プリント指定」（DPOF プリント設定）を行った画像をコピーした場合、「プリント指定」（DPOF プリント設定）の情報はコピーされません。

セットアップメニューについて

セットアップメニュー一覧
セットアップメニューでは以下の項目が設定できます。

メニュー項目	内容	👁
オープニング画面	カメラの電源を ON にしたときに、液晶モニタに表示されるオープニング画面を選択します。	116
日時設定	カメラに内蔵された時計の日時を設定します。	118
モニタ設定	液晶モニタの表示方法を設定します。	121
デート写し込み	撮影時に日付と時刻を画像上に写し込みます。	122
画面の明るさ	液晶モニタの明るさを調整します。	123
操作音	カメラの操作音の ON ／ OFF や、シャッター音、オープニング音の音量を設定します。	124
オートパワーオフ	バッテリー節約のため、液晶モニタが自動的に消灯するまでの時間を設定します。	125
メモリ／カードの初期化	内蔵メモリまたは SD カードを初期化します。	125
表示言語 / LANGUAGE	カメラに表示する言語を設定します。	127
USB	ご使用のパソコンの OS やダイレクトプリント対応のプリンタとの接続に合わせてUSB通信方式を設定します。	68 76
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します。	127
設定クリア	カメラに設定された各種機能を初期設定にリセットします。	128
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。	129

セットアップメニューの表示方法
モードダイヤルを SET UP に合わせると、液晶モニタにセットアップメニューが表示されます。

ページ（1/2、1/5 など）、△や▽マークが表示される場合は、複数ページにわたりメニューや項目があることを示します。▲または▼を押すと前後のページを表示できます。

メニュー画面を終了するには、モードダイヤルをほかのモードに切り換えます。

Nikon オープニング画面

モードダイヤルを SETUP に合わせ、「オープニング画面」を選択して（115）、▶を押します。

カメラの電源を ON にしたときに、液晶モニタに表示されるオープニング画面を選択します。

次の 4 種類から選択して ⊛ を押します。

設定	内容
なし	カメラの電源を ON にしても、オープニング画面は液晶モニタに表示されず、そのまま撮影画面になります。
Nikon	カメラの電源を ON にしたとき、右のようなオープニング画面が液晶モニタに表示されます。
アニメーション（初期設定）	カメラの電源を ON にしたとき、右のようなオープニングアニメーションが液晶モニタに表示されます。
撮影した画像	内蔵メモリ／ SD カードの画像から、オープニング画面を選択できます。 1「撮影した画像」を選択し、▶ を押すと「画面の選択」画面が表示されます。 2 マルチセレクターの ◀ または ▶ で画像を選択します。 3 ⊛ を押します。 内蔵メモリの画像を選択したいときは、SD カードをカメラから取り出してください。

「撮影した画像」でスモールピクチャーまたはトリミング画像を選択する場合

- スモールピクチャー（111）を選択する場合は、640 × 480 のみ設定可能です。
- トリミング画像（64）を選択する場合は、640 × 480 以上の画像のみ設定可能です。

「撮影した画像」でオープニング画面を選択した場合

オープニング画面メニューの「撮影した画像」で、すでに画像を登録している場合、画像を変更するかどうかを確認する画面が表示されます。変更する場合は「はい」を選択し、を押します。変更しない場合は「いいえ」を選択し、を押してください。

日時設定

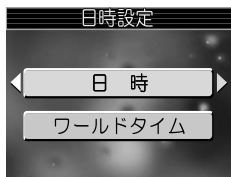
モードダイヤルを SET UP に合わせ、「日時設定」を選択して（115）、▶を押します。

カメラに内蔵された時計のタイムゾーンと日時を設定します。また、自宅のタイムゾーンを訪問先のタイムゾーンの日時に変更することもできます。

日時

通常使用する日付と時刻を設定します。詳しくは「日付と時刻を設定します」（24）をご覧ください。

ワールドタイム

使用する日時のタイムゾーンを設定します。
通常は自宅（⌂）を選択してタイムゾーンを設定します。
訪問先（✈）を選択すると、自動的に自宅との時差を算出して、選択した地域の日付と時刻に日時設定されます。時差のある地域でカメラを使用するときに使用します。

自宅および訪問先の選択アイコン（◉の方が選択されています）

1

マルチセレクターの▲または▼を押して、自宅または訪問先のタイムゾーンを選択します。

- 自宅のタイムゾーンを使用する場合は、⌂を選択して⊕を押します。
- 訪問先の時間に変更したい場合は、✈を選択して⊕を押します。
- 夏時間を設定する場合は、「夏時間」を選択して⊕を押すと、□が☑になります。

セットアップメニュー

▶ を押すと、世界地図画面が表示されます。

◀ または ▶ を押してタイムゾーン（都市名）を選択し、Ⓐ を押します。
タイムゾーンが設定されます。

MENUボタンを押すとワールドタイム画面に戻り、設定した時刻が表示されます。

- 「夏時間」に ☑ がついている場合は、時刻が 1 時間進みます。
- ◀ を押すと、セットアップメニューに戻ります。

ワールドタイムの設定についてのご注意

- 「ワールドタイム」は、「日時」で日付と時刻が設定されていないと選択できません。
- 時差は1時間単位で自動的に設定されます。時刻を正確に合わせる場合は、「日時」(☞24、118)で設定してください。

タイムゾーンを選択すると、時差を自動的に算出して、時計を合わせます。

タイムゾーン（都市名）	時差
Tokyo, Seoul	0
Beijing, HK, Singapore	-1
Bangkok, Jakarta	-2
Colombo, Dacca	-3
Islamabad, Karachi	-4
AbuDhabi, Dubai	-5
Moscow, Nairobi	-6
Athens, Helsinki	-7
Madrid, Paris, Berlin	-8
London, Casablanca	-9
Azores	-10
Fernando de Noronha	-11
BuenosAires, SanPaulo	-12
Caracas, Manaus	-13

タイムゾーン（都市名）	時差
EST: New York, Toronto, Lima	-14
CST: Chicago, Houston, MexicoCity	-15
MST: Denver, Phoenix, La Paz	-16
PST: Los Angeles, Seattle, Vancouver	-17
Alaska, Anchorage	-18
Hawaii, Tahiti	-19
Midway, Samoa	-20
Auckland, Fiji	+3
NewCaledonia	+2
Sydney, Guam	+1

ワールドタイム表示

「ワールドタイム」で「訪問先」を選択すると、✈ アイコンが液晶モニタに表示されます。
撮影画像には設定した訪問先の日時が記録されます。

モニタ設定

モードダイヤルを SET UP に合わせ、「モニタ設定」を選択して（115）、▶を押します。

液晶モニタの表示方法を設定します。

次の 5 種類から選択して を押します。

設定	内容	液晶モニタの表示
情報 ON（初期設定）	撮影・再生の際、液晶モニタに撮影情報を表示します。	
情報 AUTO	撮影・再生の際、液晶モニタに撮影情報を表示し、5秒後に自動的に情報表示が消えます。操作を行うと再び撮影情報を表示します。	
情報 OFF	情報表示を非表示にします。	
方眼＋情報 AUTO	（オート撮影モード）のときに液晶モニタに方眼を表示します。撮影情報は「情報 AUTO」になります。ほかのモードでは「情報 ON」の場合と同じになります。	
モニタ OFF	（オート撮影モード）のときに液晶モニタを消灯します。そのほかのモードでは「情報 ON」と同じ表示になります。 • 撮影するときはファインダーを使用します。AF エリアが「中央（[■]）」に、AF モードが「シングル AF（S-AF）」に設定されます。 • 節電モードになるため、ピントが合うまでの時間が点灯時に比べ若干遅くなります。	

デート写し込み

モードダイヤルを SET UP に合わせ、「デート写し込み」を選択して（ 115）、▶ を押します。

撮影時に日付と時刻を画像上に写し込みます。
デート写し込みを設定すると、日付と時刻は画像に直接写し込まれますので、DPOF に対応していないプリンタでも日付と時刻入りの画像をプリントできます。
日付と時刻は撮影と同時に画像の右下に写し込まれます。撮影後に写し込むことはできませんのでご注意ください。

設定	内容
OFF （初期設定）	日付、時刻のどちらも写し込みません。
年・月・日	画像上に日付のみを写し込みます。
年・月・日・時刻	画像上に日付と時刻の両方を写し込みます。

日付、時刻の写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時は画像から消すことはできません。
- セットアップメニューの「日時設定」（ 118）で日時を設定していない場合、デート写し込みは選択できません。
- 動画モード（ 59）、シーンモードの「パノラマアシスト」で撮影された画像には、日付と時刻は写し込みされません。
- 画像サイズ（ 84）が「TV（640 × 480）」に設定されている場合、写し込まれた日時が読みづらい場合があります。画像サイズは「PC（1024 × 768）」以上に設定することをおすすめします。
- 年、月、日の表示順序は、セットアップメニューの「日時設定」（ 118）で選択した表示順序と同じになります。
- 再生メニューの「プリント指定」（ 73）の設定に関係なく、写し込まれた日付や時刻はプリントされますので、DPOF に対応していないプリンタでもプリントされます。「プリント指定」による日付設定との違いについては、75 ページをご覧ください。

デート写し込み表示

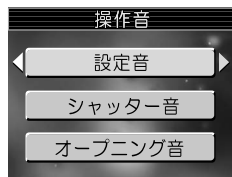
「デート写し込み」を「OFF（ ）」以外に設定すると、設定したデート写し込みアイコンが液晶モニタに表示されます。

☼ 画面の明るさ

モードダイヤルを SET UP に合わせ、「画面の明るさ」を選択して（👁115）、▶を押します。

液晶モニタの明るさを 5 段階に調整します。画面上に表示される画像の明るさを目安にしながら、マルチセレクターの▲または▼を押して選択し、⏎を押して決定します。メニュー画面に戻る場合は、マルチセレクターの◀を押してください。

操作音

モードダイヤルを SET UP に合わせ、「操作音」を選択して(115)、▶を押します。

カメラの状態を知らせる設定音の ON/OFF、シャッター音またはオープニング音の音量を設定します。

設定	内容
設定音	カメラの状態を知らせる設定音を「ON」または「OFF」から選択し、⊛を押します。次のようなときに、設定音が鳴ります。 ・ モードダイヤルを切り換えたとき ・ 撮影モードと再生モードを切り換えたとき ・ ⊛を押して選択が決定されたとき ・ バッテリーの残量がなくなったとき ・ 内蔵メモリ／SDカードの状態によって撮影できないとき ・ エラーが起きたとき
シャッター音	シャッター音の音量を「大」、「標準」、「OFF」から選択し、⊛を押します。「OFF」を選択すると、シャッターをきってもシャッター音は鳴りません。 動画モードで撮影するときは、設定にかかわらずシャッター音は鳴りません。
オープニング音	カメラの電源をONにしたときのオープニング音の音量を「大」、「標準」、「OFF」から選択し、⊛を押します。

オートパワーオフ

モードダイヤルを SETUP に合わせ、「オートパワーオフ」を選択して（☞115）、▶を押します。

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間を 30 秒、1 分（初期設定）、5 分、30 分から選択し、Ⓞを押します。オートパワーオフ機能の詳しい内容については 23 ページをご覧ください。

メモリ／カードの初期化

モードダイヤルを SETUP に合わせ、「メモリの初期化」または「カードの初期化」を選択して（☞115）、▶を押します。

内蔵メモリ／ SD カードを初期化（フォーマット）します。初期化すると、記録されているすべてのデータが削除されます。
SD カードをはじめて COOLPIX4200 で使用するときは、必ず初期化してください。

- 内蔵メモリを初期化するときは、SD カードを取り出してください。
- SD カードをカメラに装着すると、SD カードを初期化できます。

内蔵メモリを初期化する

1

マルチセレクターの▲または▼で「初期化する」を選択します。

- 初期化を行わない場合は「いいえ」を選択してⓄを押してください。

2

Ⓞを押すと初期化が開始され、「メモリ初期化中」というメッセージが表示されます。

- 初期化を終了すると、セットアップメニュー画面に戻ります。

SD カードを初期化する

1 マルチセレクターの▲または▼で「初期化する」を選択します。

- 初期化を行わない場合は「いいえ」を選択して⏎を押してください。

2 ⏎を押すと初期化が開始され､「カード初期化中」というメッセージが表示されます。

- 初期化を終了すると、セットアップメニュー画面に戻ります。

メモリ初期化のご注意

- メモリの初期化は、カメラで行ってください。パソコンで初期化（フォーマット）を行うと、データの書き込み、読み出しなどに不具合が発生することがあります。
- 「メモリ初期化中」や「カード初期化中」のメッセージが液晶モニタに表示されている間は、カメラの電源を OFF にしたり､バッテリーや SD カードを取り出したりしないでください。
- 初期化すると、プロテクト設定（ 108）されている画像も含めて、すべての画像が削除されます。初期化する前に保存したい画像をパソコンに転送することをおすすめします（ 68)。
- 内蔵メモリ／ SD カードは、撮影、削除を繰り返すと処理能力が落ちてくるため、カメラの機能を充分に活用できなくなります。定期的に初期化することをおすすめします。

表示言語 /LANGUAGE

モードダイヤルを SET UP に合わせ、「表示言語 /LANGUAGE」を選択して（115）、▶を押します。

メニュー画面やメッセージ画面に表示する言語を選択します。「**Deutsch**（ドイツ語）」、「**English**（英語）」、「**Español**（スペイン語）」、「**Français**（フランス語）」、「**Italiano**（イタリア語）」、「**Nederlands**（オランダ語）」、「**Svenska**（スウェーデン語）」、「日本語」（初期設定）、「**中文(简体)**（中国語）」、「**한글**（韓国語）」から選択し、↵を押します。

USB

モードダイヤルを SET UP に合わせ、「USB」を選択して（115）、▶を押します。

カメラとパソコンを接続して画像を転送したり（68）、カメラとプリンタを接続して画像をダイレクトプリントする（76）前に USB 通信方式を選択します。

ビデオ出力

モードダイヤルを SET UP に合わせ、「ビデオ出力」を選択して（115）、▶を押します。

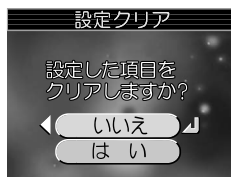
ビデオの出力方式を選択します。テレビやビデオデッキなどの接続先の機器に合わせて選択し、↵を押します（67）。

設定	内容
NTSC	NTSC 方式に設定します。通常、日本国内で使われている方式です。
PAL	PAL 方式に設定します。通常、欧州で使われている方式です。

C 設定クリア

モードダイヤルをSETUPに合わせ、「設定クリア」を選択して(115)、▶を押します。

カメラにセットされた各種設定を初期設定にリセットします。

「はい」を選択して⏎を押します。

設定	内容
いいえ	設定をリセットしません。
はい	各種設定を初期設定にリセットします。

以下の設定項目がリセットされます。

設定項目	初期設定
ポートレートモード	ポートレート
風景モード	風景
スポーツモード	スポーツ
夜景ポートレートモード	夜景ポートレート
SCENE(シーンモード)	パーティー
動画モード	TV 再生 640
スピードライト	AUTO
セルフタイマー	OFF
マクロモード	OFF
露出補正	± 0
画質	NORMAL
画像サイズ	4M
ホワイトバランス	オート
測光方式	マルチ
連写	単写
BSS	OFF

設定項目	初期設定
階調補正	オート
輪郭強調	オート
感度設定	オート
ブラケティング	OFF
彩度調整	標準
AF エリア選択	オート
マニュアル(AF 選択エリア)	中央
AF-MODE	シングル AF
ノイズ除去	OFF
オープニング画面	アニメーション
モニタ設定	情報 ON
デート写し込み	OFF
画面の明るさ	3
設定音	ON
シャッター音	標準
オープニング音	標準
オートパワーオフ	1 分

ファイル名の連番を 0001 にリセットしたいときは

ファイル名の連番を 0001 にリセットするときは、内蔵メモリ／ SD カード内の画像をすべて削除(106)するか、内蔵メモリ／ SD カードを初期化(125)したあと、設定クリアを行ってください。

Ver. バージョン情報

カメラのファームウェアバージョンを表示します。
◀を押すと、セットアップメニューへ戻ります。

別売アクセサリー

COOLPIX4200 には次の別売アクセサリーが用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

リチャージャブルバッテリー	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5
バッテリーチャージャー	バッテリーチャージャー MH-61
AC アダプタ	AC アダプタキット EH-62A
ウォータープルーフケース	ウォータープルーフケース WP-CP2 COOLPIX4200 用の水深約 40m まで使用可能なウォータープルーフケースです。

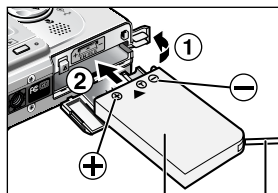
推奨 SD カード一覧

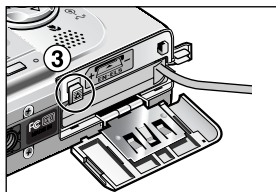
次の SD カードが動作確認されております。

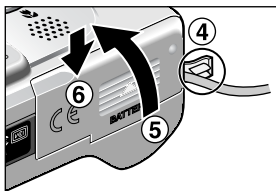
SanDisk 製	16MB、32MB、64MB、128MB、256MB
東芝製	16MB、32MB、64MB、128MB、256MB
Panasonic 製	16MB、32MB、64MB、128MB、256MB*、512MB*

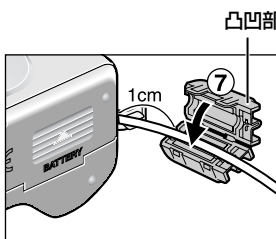
*10MB/s 以上の高速タイプ

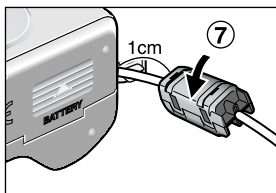
AC アダプタキット EH-62A の接続について

別売 AC アダプタキットを使用すると、カメラにパソコンやプリンタを接続するときなど、長時間カメラをご使用になるときに家庭用コンセント（AC100V）から COOLPIX4200 へ電源を供給することができます。
AC アダプタキットを取り付ける前に、カメラ本体の電源が OFF になっていることを確認してください。

1 バッテリーカバーとパワーコネクタカバーを開け(①)、パワーコネクタ EP-62A を挿入します(②)。

AC アダプタキット EH-62A のパワーコネクタ EP-62A を「+」と「−」の方向に注意して、バッテリロックレバーをパワーコネクタの側面で押しながら、バッテリー室の中に挿入します。

2 パワーコネクタをバッテリーロックレバーでロックします。

パワーコネクタにバッテリーロックレバーが掛かるまで(③)しっかり押し込んでください。

3 バッテリーカバーを閉じます。

パワーコネクタのコードがパワーコネクタカバーの開口部から出るように注意して（④）、バッテリーカバーを閉じ（⑤)、矢印の方向にスライドさせます（⑥)。

4 COOLPIX4200 に付属のフェライトコアをパワーコネクタのコードに取り付けます。

フェライトコアの凸凹部をカメラ側に向けないように注意して、カメラから約 1cm の位置に図のように取り付けます（⑦)。

これでカメラにパワーコネクタ EP-62A が装着されました。このあとの接続や使用上のご注意については、「AC アダプタキット EH-62A 使用説明書」をご覧ください。

AC アダプタキットの取り外しについて

カメラの電源を OFF にして、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリーカバーを開け、バッテリーロックレバーを押してパワーコネクタ EP-62A をまっすぐ引き抜いてください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、直接手で触らないようにご注意ください。ほこりや糸くずはブロアーで払います。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布でレンズのガラスの中心から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。

液晶モニタ

ほこりや糸くずはブロアーで払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラ本体

ブロアーを使ってほこりや糸くずを払い、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。海辺などでカメラを使用したあとは、真水を湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取り、よく乾かします。

※クリーニングの際、アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

保管について

長期間カメラを使用しないときはバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前にカメラの電源が OFF になっていることを確認してください。

次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください：

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が 60% を越える部屋

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズに無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は CCD の褪色・焼きつきを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

●保管する際には

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーを必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れカメラを操作することをおすすめします。

●バッテリーや AC アダプタを取り外すときは必ず電源 OFF の状態で行ってください

電源 ON の状態で、バッテリーの取り出し、AC アダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

●液晶モニタについて

液晶モニタの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。記録される画像には影響はありません。

- 屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。
- 液晶モニタ画面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニタの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

●スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といいますが、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

●AF 補助光について

AF 補助光（☞12）に使用されている LED（発光ダイオード）は以下の IEC 規格に準拠しています。

クラス 1 LED製品
IEC60825-1 Edition 1.2-2001

付録

バッテリーの取り扱いについて

●撮影の前に充電池をあらかじめ充電する

リチャージャブルバッテリー EN-EL5 で撮影の際は、バッテリーの充電を行ってください。付属のリチャージャブルバッテリー EN-EL5 は、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

●バッテリー使用上のご注意

- バッテリーを電源として長時間使用したあとは、バッテリーが発熱していることがありますのでご注意ください。
- バッテリーを取り出す場合は、カメラの電源を OFF にして、電源ランプが消灯していることを確認してから取り出してください。
- バッテリー容量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチの ON/OFF を繰り返さないでください。

●予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電済みの予備バッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によっては入手や充電が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●持ち運ぶときは端子カバーをつける

- カメラから取り外したバッテリーを保管したり、持ち運ぶ場合は、必ず付属の端子カバーをつけてください。バッテリーがショートすると、液もれ、発熱、破裂の原因となり危険です。

●低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時に使用する場合は、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は、充分に充電されたリチャージャブルバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

●バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、バッテリーを入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

●バッテリーの残量について

バッテリーの特性上、残量がなくなったバッテリーを再度カメラに入れた場合、バッテリーの残量が充分な状態を示す（バッテリー表示が何も表示されない状態）ことがありますのでご注意ください。

●リチャージャブルバッテリー EN-EL5 のリサイクルについて

ご使用済みのリチャージャブルバッテリーは貴重な資源です。リチャージャブルバッテリーのリサイクルにご協力ください。＋端子にテープ等を貼り付けて絶縁してから、ニコンサービスセンターやリサイクル協力店へご持参ください。

●小型充電式電池のリサイクル

Li-ion

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

警告メッセージについて

液晶モニタに下記の警告メッセージが表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処方法をご確認ください。

液晶モニタの表示	原因	対処方法	👀
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	24
電池残量がありません	バッテリーの残量がありません。	カメラの電源をOFFにしてバッテリーを交換してください。	18
[ ] （AF エリアの赤色点滅） AF● （AF 表示の赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	シャッターを半押しして被写体と同じ距離のものにピントを合わせ、そのまま構図を元にもどして撮影してください。	33
	シャッタースピードが低下して手ブレのおそれがあります。	スピードライトを使用するか､次の方法でカメラを安定させてください。 • 三脚を使用する • 安定した場所におく • 体に肘を付け脇を締めて、両手でしっかりとカメラを固定する	51 45 — 29
しばらくお待ちください	• 画像の記録中にカメラの電源を OFF にしました。 • 画像の記録中に ▶ ボタンを押しました。 • 画像の記録中にモードダイヤルを切り換えました。	画像の記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	32
カード記録中 しばらくお待ちください			
カードがロックされています	SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」にセットされています。	SD カードの書き込み禁止スイッチの｢Lock｣を解除してください。	21
このカードは使用できません	SD カードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのSDカードをご使用ください。	130
カードに異常があります		• SD カードの端子部分が汚れていないかご確認ください。 • 電源を OFF にして、SD カードが正しく挿入されていることを確認してください。	20
初期化されていません 初期化する いいえ ▶	SD カードが、COOLPIX4200 用に初期化されていません。	マルチセレクターの▲ボタンを押して､｢初期化する｣を選択し､ を押してSDカードを初期化するか､カメラの電源を OFF にして､適切な SD カードに交換してください。	21 125

付録

液晶モニタの表示	原因	対処方法	
メモリ残量がありません または	画像を記録する空き容量がありません。	・画像モードを変更してください。 ・不要な画像を削除してください。 ・新しい SD カードを挿入してください。	83 35 20
	画像を転送するための通信情報を書き込む容量がありません。（カメラとパソコンを接続し、（転送 ）ボタンを押した場合のみ）	不要な画像を削除し、再度 （転送 ）ボタンを押してください。	106
	画像をコピーしようとしましたが、コピー先のメモリ容量が足りません。	・コピー先のメモリを初期化してください。 ・新しい SD カードに入れ換えるか、内蔵メモリ／SDカード内の不要な画像ファイルを削除してください。	125 20 35 106
画像を登録できません または （点灯）	SDカードのフォーマットが異なります。	SD カードを初期化してください。	125
	画像の保存中にエラーが発生しました。		—
	ファイル番号のオーバーフローです。	新しいSDカードに入れ換えるか、内蔵メモリ／ SD カードの不要な画像ファイルを削除してください。	20 35 106
	・スモールピクチャーまたはトリミングで作成された画像か、動画を編集しようとしました。 ・スモールピクチャーを作成できない画像を設定しました。	すでに編集された画像をさらに編集したり、動画を編集することはできません。	—
	オープニング画像に設定できない画像を設定しました。	画像サイズが 320 × 240 以下のスモールピクチャーまたはトリミング画像は設定できません。	117
撮影画像がありません	内蔵メモリ／ SD カードに撮影された画像が入っていません。	・撮影したにもかかわらず、このメッセージが表示される場合は、カメラの電源を OFF にして、再度 ON にしてください。この現象が続く場合は、ニコンサービスセンターにご連絡ください。 ・再生モードになっているときは、ボタンを押して撮影モードに切り換え、画像を撮影してください。 ・内蔵メモリの画像を表示させたい場合は、SD カードを取り出してください。	22 31 21

液晶モニタの表示	原因	対処方法	📖
このファイルは表示できません	パソコン、または他社のカメラで作成したファイルです。	撮影したカメラまたはパソコンで再生してください。	—
表示可能な画像がありません	SD カードまたは内蔵メモリに COOLPIX4200 で再生できる画像が入っていません。		
このファイルは削除できません	プロテクト設定された画像を削除しようとしました。	再生メニューで「プロテクト設定」を解除してください。	108
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	ワールドタイムの設定で、自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しようとしました。	自宅と訪問先のタイムゾーンを再度確認してください。自宅と訪問先のタイムゾーンが同じであれば設定する必要はありません。	118
レンズエラー	レンズ駆動中にエラーが発生しました。	カメラの電源を OFF にして、再度 ON にしてください。この現象が続く場合は、ニコンサービスセンターにご連絡ください。	23
通信エラー	パソコンに画像転送中、インターフェースケーブルの接続が外れたか、SD カードが取り出されました。	パソコンのモニタに警告メッセージが表示された場合は、「OK」をクリックして付属のソフトウェアを終了してください。カメラの電源を OFF にしたあと、ケーブルを接続し直すか、SD カードを交換して、もう一度電源を ON にして転送してください。	20 70
	パソコンが何らかの処理を行っています。	パソコンのモニタに警告メッセージが表示された場合は「OK」をクリックし、パソコンの処理が終わるのを待ってから転送してください。	—
	ご使用のパソコンの OS とカメラの USB 通信方式の組み合わせでは、カメラの (転送)ボタンで転送できません。	カメラの電源を OFF にし、いったん USB ケーブルを外してセットアップメニューの「USB」を変更し直したあと、パソコンと再度接続してください。この操作で警告メッセージが消えない場合には、付属のソフトウェアの転送ボタンをご使用ください。	68 70 71
転送マークされた画像がありません	転送設定された画像がないときに (転送)ボタンでパソコンに画像を転送しようとしました。	カメラとパソコンの接続を外し、少なくとも 1 枚以上の画像に転送設定を指定して、再度転送してください。	70 71 109
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	• カメラとパソコンが正しく接続されていること、およびバッテリーの残量が充分であることを確認してください。 • AC アダプタキット EH-62A（別売）がしっかり接続されていることを確認してください。	22 70

付録

液晶モニタの表示	原因	対処方法	👁
システムエラー ⚠	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	カメラの電源を OFF にし、バッテリーを取り外します。AC アダプタキットを使用している場合はアダプタキットを取り外します。再度バッテリーを入れるか、AC アダプタキットを取り付けて電源を ON にしてください。システムエラーの表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	18
プリンタエラー プリンタを確認してください ⚠	ご使用のプリンタにエラーが発生しました。	プリンタの使用説明書をお読みになり、エラーの原因を取り除いてください。	—

故障かな？と思ったら

カメラが正常に作動しないときは、お買い上げの販売店やニコンサービスセンターにお問い合わせいただく前に、下表の項目をご確認ください。

●デジタルカメラの特性について

きわめて希なケースとして、液晶モニタに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような状態になった場合は、電源を OFF にしてバッテリーを入れ直し、電源を ON にしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますとバッテリーが熱くなっていることがありますので、取り扱いには充分にご注意ください。AC アダプタキットをご使用時は、いったんカメラから取り外して再度カメラに取り付け、電源を ON にしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態のときのデータは、失われるおそれがありますが、すでに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。

こんなときは	ここをご確認ください	参照
液晶モニタに何も映らない	・カメラの電源が入っていません。 ・液晶モニタがオフになっています。 ・バッテリーが正しく装着されていません。またはバッテリーカバーがしっかりと閉まっていません。 ・バッテリーの残量がありません。 ・AC アダプタキット EH-62A（別売）が正しく接続されていません。 ・オートパワーオフ機能が作動しています。シャッターボタンを半押ししてください。 ・USB ケーブルが接続されています。 ・オーディオビデオケーブルが接続されています。	22 15 18 22 130 23 — —
カメラの電源が突然切れる	・バッテリーの残量がありません。 ・バッテリーの温度が低すぎます。	22 134
液晶モニタに画像モードなど､カメラの撮影情報や画像の情報が表示されない	・撮影情報や画像情報を非表示に設定している可能性があります。セットアップメニューの「モニタ設定」を変更してください。	121
液晶モニタの画面がよく見えない	・周囲の光が明るすぎます。暗い場所に移動してください。 ・液晶モニタの明るさを調整してください。 ・液晶モニタが汚れています。	133 123 133

こんなときは	ここをご確認ください	
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	・カメラが再生モードになっています。 ・バッテリーの残量がありません。 ・スピードライトランプが点滅しています：スピードライトが充電中です。 ・液晶モニタに「初期化されていません」というメッセージが表示されます：SDカードがCOOLPIX4200用に初期化されていません。 ・液晶モニタに「カードがロックされています」というメッセージが表示されます：SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」にセットされています。 ・液晶モニタに「メモリ残量がありません」というメッセージが表示されます：内蔵メモリ／ SD カードに画像を記録する空き容量がありません。	27 22 31 21 125 21 135 35 136
撮影した画像が暗すぎる（露出不足）	・スピードライトが発光禁止になっています。 ・スピードライトが指などでさえぎられています。 ・被写体がスピードライトの光が届かない位置にあります。 ・露出補正値が低すぎます（－側）。	51 29 52 56
撮影した画像が明るすぎる（露出過度）	・露出補正値が高すぎます（＋側）。	56
ピントが合わない	・オートフォーカスが苦手な被写体です。	32
画像がブレる	・撮影中にカメラが動きました。次の方法で再度撮影してください。 －スピードライトを使用してください。 －BSS（ベストショットセレクタ）機能を使ってください。 －三脚を使用して、カメラを安定させてください（セルフタイマーを使うと効果的です）。	 51 91 54
ノイズが発生し、画像がザラつく	・シャッタースピードが遅すぎます。速いシャッタースピードで撮影するにはスピードライトを使用してください。（夜景ポートレート）モード、SCENE（シーン）モードの（夜景）、（トワイライト）が設定されている場合は、シャッタースピードが低速になるとノイズ除去機能が自動的に作動します。撮影状況に合わせてこれらのシーンモードに設定することをおすすめします。	51 43 46

こんなときは	ここをご確認ください	👁
スピードライトが発光しない	• スピードライトが発光禁止になっています。次の場合、スピードライトは自動的に発光禁止になりますのでご注意ください： – (風景) モード (右背景、左背景を除く)、(スポーツ) モード、SCENE (シーン) モードの (夕焼け)、(トワイライト)、(夜景)、(ミュージアム)、(打ち上げ花火) が設定されている場合 – モードダイヤルを モードに合わせている場合 – モードで連写、サーキュラー連写またはマルチ連写が選択されている場合 – モードで BSS が ON になっている場合 – モードでブラケティングが設定されている場合	51 37 59 89 91 95
画像の色合いが不自然になる	• 適切なホワイトバランスが選択されていません。	86
画像または音声を再生できない	• パソコンか他社製のカメラで、画像または音声が上書きされました。または名前が変更されました。	–
画像を編集(スモールピクチャーまたはトリミング)できない	• 表示画像が動画です。静止画像に対してのみ編集することができます。 • 表示画像がすでに編集された画像です。 • 内蔵メモリ／SD カードの空き容量が少ない場合、画像を編集できない場合があります。画像の削除などを行って、空き容量を確保してから作成してください。	111 64 111 106
再生時に画像の拡大表示ができない	• 表示画像が動画です。 • 表示画像がスモールピクチャーです。 • 表示画像が 320 × 240 以下にトリミングされています。	63 111 64
カメラをパソコンに接続時、または SD カードをカードリーダーやカードスロットに挿入したときに、付属のソフトウェアが自動的に起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • AC アダプタキット EH-62A（別売）が正しく接続されていません。またはバッテリーの残量がありません。 • USB ケーブル UC-E6 が正しく接続されていません。またはカードがカードリーダー、カードアダプタ、またはカードスロットに正しく挿入されていません。 • カメラのデバイス登録が正しく行われていません。 • セットアップメニューの「USB」を PTP に設定しています (Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE の場合)。 付属のソフトウェアのリファレンスマニュアル(CD-ROM)をご覧ください。	22 130 22 70 – 68

主な仕様

形式	ニコンデジタルカメラ E4200
有効画素数	4.0 メガピクセル
撮像素子	1/1.8 型原色 CCD 総画素数 4.13 メガピクセル
画像サイズ（pixel）	• 2272 × 1704［4M］ • 2048 × 1536［3M］ • 1600 × 1200［2M］ • 1024 × 768［PC］ • 640 × 480［TV］
レンズ	3 倍ズームニッコールレンズ
焦点距離	f=7.8 ～ 23.4mm （35mm 判換算 38 ～ 114mm）
絞り	F2.8 ～ F4.9
レンズ構成	6 群 7 枚
電子ズーム	最大 4 倍（35mm 判換算で約 450mm 相当）
オートフォーカス	コントラスト検出方式、AF 補助光付
撮影距離	レンズ前　約 30cm ～∞（マクロモード時は約 4cm（ズームのワイドポジション）～∞）
AF エリア	オート（5 カ所自動選択）、マニュアル（99 カ所任意選択）、中央
AF 補助光	クラス 1 LED 製品（IEC60825-1 Edition 1.2-2001） 最大出力値 2250μW
ファインダー	実像式ズームファインダー、LED 表示
倍率	0.31 ～ 0.77
視野率	上下左右とも約 75%
液晶モニタ	1.5型低温ポリシリコンTFT反射透過併用型液晶、110,000画素、輝度調節機能付き（5 段階）、アドバンストブライトネスコントロール機能
視野率（撮影時）	上下左右とも約 100%（対実画面）

記録形式	
記録媒体	内蔵メモリ（約 12MB）、SD メモリーカード
画像ファイル	Design rule for Camera File System（DCF）、Exif 2.2 準拠、Digital Print Order Format(DPOF) 準拠
ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline 準拠 動画：QuickTime
露出	
測光方式	マルチ測光、中央重点測光、スポット測光
露出制御	プログラムオート 露出補正（－ 2 ～＋ 2EV、1/3EV ステップ）、オートブラケティング可能
露出連動範囲	広角側：EV1 ～ EV15.8、望遠側：EV2.6 ～ EV17.4 （感度設定：オート時）
シャッター	メカニカルシャッターと CCD 電子シャッターの併用
シャッタースピード	4 ～ 1/2000 秒
絞り	電磁駆動による開口選択方式
制御段数	2（F2.8、F4.8［広角側］）
撮像感度	ISO80 相当、感度切り換え可能（オート、ISO80、ISO100、ISO200、ISO400 相当）
セルフタイマー	10 秒、3 秒
内蔵スピードライト	
調光範囲	約 0.3 ～ 4.5m（広角側）、約 0.3 ～ 3.5m（望遠側） （感度設定：オート時）
調光方式	自動調光制御
インターフェース	USB
ビデオ出力	NTSC、PAL から選択可能
入出力端子	オーディオビデオ出力／デジタル端子（USB）
電源	• リチャージャブルバッテリー EN-EL5（リチウムイオン充電池；付属）1 本 • AC アダプタキット EH-62A（別売）

連続撮影コマ数	約 150 コマ（EN-EL5 使用時） ※ CIPA 規格による。
大きさ	約 88（W）× 60（H）× 36.5（D）mm（突起部除く）
質量（重さ）	約 155g（バッテリー、SD カード除く）
動作環境	
温度	0 ～ 40 ℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

仕様中のデータは、すべて常温（25 ℃）、付属のリチャージャブルバッテリー EN-EL5 をフル充電で使用時のものです。

Design rule for Camera File system（DCF）について

COOLPIX4200 は、Design rule for Camera File system（DCF）に準拠しています。DCF は、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。

Exif* Version 2.2 について

COOLPIX4200 は、Exif Version2.2 に対応しています。Exif Version 2.2 は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。Exif Version 2.2 対応のプリンターを使用することで、撮影時のカメラ情報を活かし、プリンターが最適なプリント出力を提供することができます。プリンターの使用説明書を読んでご使用ください。

* Exif = Exchangeable image file format

索引

英数・マーク

ア

カ

付録

マ

ヤ

ラ

付録

アフターサービスについて

■この製品の操作方法についてのお問い合わせは

この製品の操作方法について、さらにご質問がございましたら下記のニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご参照ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAX または郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■製品の修理に関するお問い合わせは

ニコンカメラ販売株式会社　サービス部
〒 140 - 0015　東京都品川区西大井 1-6-3
TEL　03 - 3773 - 2221　　受付時間：祝日を除く月～金（9：00 ～ 17：45）
＊ このほか年末年始、夏期休暇など、都合により休業する場合があります。

◆ 当サービス部では、修理品の直接受け付けならびに受け渡しに関する業務は行っておりません。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、「ニコンサービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。
- 修理に出されるときに、SD メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後 5 年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店、またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社 Web サイトでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

TEL 0570 - 02 - 8000　FAX 03 - 5977 - 7499

【お問い合わせ承り書】

太枠内のみご記入ください。

お問い合わせ年月日：		年	月	日
お買い上げ日：		年	月	日
製品名：	シリアル番号：			
フリガナ お名前：				
連絡先ご住所：□自宅　□会社 〒 TEL： FAX：				
ご使用のパソコンの機種名： メモリ容量： OS のバージョン： そのほか接続している周辺機器名： ご使用のアプリケーションソフト名： ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：	 ハードディスクの空き容量： ご使用のインターフェースカード名：			
問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度： （おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください。）				

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

技術的なお問い合わせのご案内

製品の操作に関する技術的なお問い合わせは、下記のニコンカスタマーサポートセンターをご利用ください。

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞

全国共通電話番号 **0570-02-8000** にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

☎ **0570-02-8000**
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30〜18:00（年末年始、夏期休暇等を除く毎日）
携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033** におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499** におかけください。

ニコン宅配修理サービスのご案内

修理品梱包資材のお届けから修理品のお引き取り、修理後の製品のお届けまでのサービスは下記をご利用ください。（有料サービス）

＜ニコン宅配修理サービスお申し込み専用窓口＞

0120 FreeDial ☎ **0120-868-545**

携帯電話やPHS等からのご利用はできません。
営業時間：9:30〜17:30（土・日・祝日を除く毎日）年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

なお、上記フリーダイヤルでは宅配修理サービス関連以外のご案内は行っておりません。

株式会社ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
YP4E01500301(10)
6MA00910-03